

20

1975

おんじゅく

合併20周年記念町勢要覧



上総国夷岡郡御宿村
浜村
高畑村
久保村

M. 22. 5. 31

合併

御宿村

T. 3. 6. 1

...

(+ 昭和 40 年 3 月 31 日)

S. 20. 2. 31

御宿村の一部

合併

目次



●町の木<キョウチクトウ>

活弁線 4.23 km
用周

- 1 ごあいさつ
- 2 20年を礎に飛躍へスタート
- 3 20年のあゆみから
- 6 座談会：新成人の希望
- 8 御宿の次代をになう
- 8 教育・社会教育
- 11 明るく豊かな町づくり
- 11 建設
- 12 農漁業・商工業
- 16 観光
- 18 大いなる御宿の未来像
- 21 町民すべてがしあわせに
- 21 福祉
- 22 保健・衛生
- 24 防災・通信
- 25 運輸
- 26 町民の手足となって
- 26 議会・行政
- 27 財政
- 28 組織図
- 29 資料編
- 35 数字でみる町のすがた
- 36 住民カレンダー
- 37 町のうた



●町章のいわれ

町名の頭文字「オ・ン」を図案化したもので
合併した3ヶ町村が丸く和合し
未来に向かって大きく発展することを表わしたもの
昭和40年3月制定
創案者=御宿町六軒町 藤江真一

ごあいさつ



白砂青松の長い海岸線、あおい網代湾、自然美豊かな御宿町が誕生しここに満20周年を迎え、町民の皆さんとともに感慨ひとしお深いものがあります。

この間、基幹産業である農・漁業振興を主軸としての観光産業の育成発展に、町民一丸となつてとどまることなき前進を続けてまいりましたが、すべてが青年期に入りました。教育・社会福祉・土木行政等々、いずれも激しく変動する社会状況に対応するよう、迅速適正な処置を行ってまいりましたが、まだまだ町民の期待に十分応えたものとは思いませんが、新しい自治体としての体制を確立できる見通しがついてまいりました。

乱開発を防止し、自然保護に重点を置いた秩序ある町の環境整備によって、一定人口の定着と年間観光への移行が可能となり、人間性豊かな理想郷「御宿」の風格ある発展につなげることができそうです。

町民の健康を守り、所得水準の向上を図ることが行政の最大目標であることを深く認識し、今後も「住民の意志に直結し、住民の立場に立った」行政を行っていく信念であります。

ここに20年の過去を顧み、町勢の動向を集録し、施策の資料となることを念願し、記念号を発刊しましたので、ご利用いただければ幸いと存じます。

町村合併20周年の意義ある記念式典を行うにあたり、町民皆さんのかぎりないご協力に対し深く感謝の意を表するとともに、なお一層のご理解とご支援をお願い申し上げる次第でございます。

昭和50年3月31日

御宿町長

岩井敏夫

20年を礎に飛躍へスタート

御宿はひなびた淋しい町、
現した。布施・浪花村
じらい20年、文字どお
期へ力づくその第1歩
教育の町として前井上町政から岩井町政へと、一貫して教育
の重大さを認識し施設への投資をしてきた。
町の発展をねがう町民がどのような困難に

をしのぐ公共施設の整備は、町民の愛町精神と勤勉が見事に
結実したものである。そしていま、西と東に600億円をこ
える大規模投資がすすめられ、あすの御宿が観光の町として
日本でも例をみない、格調高い保養地として生まれ変わろうと
している。

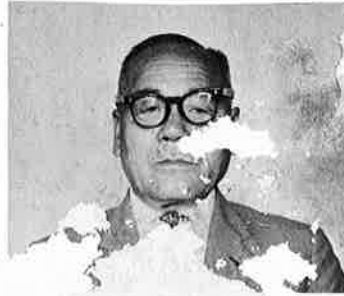
町民の先見性とたゆまぬ努力と英知と
必ずや花開くときをもたらすものと信じたい。



20年のあゆみから

昭和30年

- 3月31日 町村合併促進法に基き、御宿町と浪花村の一部(大字岩和田)布施村の一部(大字七本・実谷・上布施)が対等合併し、新御宿町が誕生。
- 5月18日 新御宿町長井上文吉氏就任。①
- 5月22日 町村合併に基き、布施・岩和田を統合し新御宿町消防団を結成、初代団長に君塚俊氏就任。
- 12月15日 町営住宅を建設。②



昭和31年

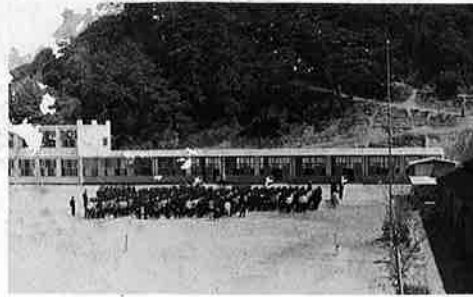
- 10月10日 中学校々舎落成式を挙行。③

昭和32年

- 1月24日 夷隅高等学校講堂新築落成。
- 3月1日 国民健康保険制度を創設。

昭和33年

- 4月8日 中学校々舎増築工事了。
- 11月27日 日西墨交通発祥記念碑改修工事了、竣工式典挙行。④



昭和34年

- 2月16日 消防団は大日本消防協会長より表彰される。
- 5月10日 忠霊殿顕彰慰霊祭を小学校々庭にて行う。

昭和35年

- 3月1日 町営バスの運行開始。保育園児・小・中学校児童生徒の送迎をする。⑤
- 3月28日 岩和田小学校々舎増築工事了。
- 11月24日 豪雨により河川の氾濫、耕地の冠水、土砂崩壊、道路の決壊、床下床上浸水家屋多数あり。

昭和36年

- 4月1日 有線放送新設工事了、同時に放送開始。⑥
- 5月23日 大雨のため須賀町営住宅附近清水川氾濫。⑦

昭和37年

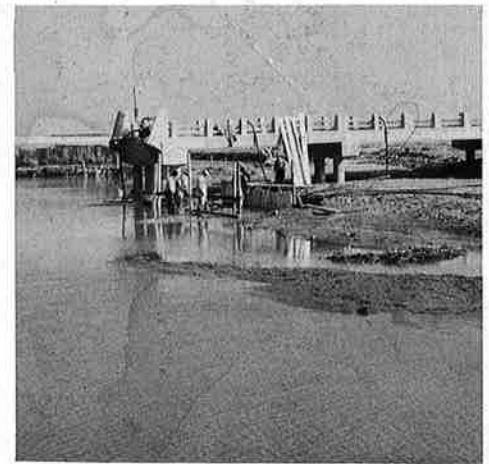
- 8月25日 小学校前通り舗装工事は、大場善蔵氏の寄附により完成。この道路を大場通りと称す。

昭和38年

- 6月29日 御宿駅は大正2年6月、開業50周年を迎え記念式典を挙行。⑧

昭和39年

- 4月30日 新しい機構のもとに御宿町観光協会発足、初代会長に金井英一氏を選出。
- 10月1日 岩瀬国松氏奨学金として町に100万円寄附する。



11月17日 御宿漁港竣工。(9)

昭和40年

- 2月21日 久保丸山地先にじん芥焼却場完成.
- 3月31日 町村合併10周年記念式典と挙行。(10)
- 4月1日 夷隅高校御宿校舎独立し、千葉県立御宿家政高等学校となる。(11)
- 4月30日 御宿中学校体育館竣工。(12)
- 7月8日 町政懇談会を各区事務所にて開催.
- 11月3日 町長井上文吉氏自治功労者として、勲五等隻光旭日章受賞.



9



10

昭和41年

- 1月1日 御宿・布施農協合併により新御宿農協発足、初代組合長神定喜一氏.
- 4月1日 消防合理化により、第4・第5分団及び第8・9分団統合し、新たに第4・8分団発足.
- 4月30日 漁民住宅竣工。(13)
- 8月6日 御宿ブルース発表会。(14)
- 11月22日 日西墨交通発祥記念碑が、県教育委員会より県文化財(史跡)として指定される.



11



12

昭和42年

- 2月11日 16年ぶりの大雪に見舞われる。(15)
- 4月1日 商工観光課を設置.
- 5月14日 町長井上文吉氏任期満了により退任する.
- 5月15日 岩井敏夫氏町長に就任。(16)
- 7月9日 本日午前零時より電話がダイヤル式となる.
- 11月25日 御宿小学校々舎落成。(17)
- 12月18日 前町長井上文吉氏、名誉町民に推挙される.



13



14

昭和43年

- 4月13日 消防合理化方針の一環として、上布施地区4分団(小幡・立山・新久井・新宿)を統合.
- 7月4日 勤労者の増加により昼間消防団員の減少著しく、これが消防力補強の為、昼間消防活動を主体とした役場消防隊発足.



18



15

昭和44年

- 4月14日 月の沙漠像建設起工式.
- 7月6日 月の沙漠像完成除幕式。(16)
- 10月9日 御宿小学校屋内体操場起工式.



16



17

昭和45年

- 3月13日 大場長氏代名義所民の町長である御宿小学校体育館において、新方式による第1回NHKのど自慢の公開録画とる.
- 4月3日 御宿小学校体育館落成式。建物総面積1,159㎡総工費4900万円.

- 5月14日 県道御宿停車場線開通式延長287m, 幅員12m ⑱
- 7月30日 保育所新築工事起工式.

昭和46年

- 2月8日 ごみ焼却場竣工. 工費本体1760万円. ⑳
- 3月20日 町民プール竣工. 工事費4080万円. ㉑
- 3月31日 御宿保育所落成. 工費4100万円, 延面積897.84㎡ ㉒
- 4月25日 御宿町長選挙, 岩井町長再選. 投票率82.34% ㉓
- 9月8日 台風25号房総沖通過. 7日夜半より8日未明にかけて600ミリに達する記録的豪雨あり, 町内各所に大被害発生. ㉔

昭和47年

- 4月1日 浅野興典氏助役就任, 和田正美氏収入役就任.
- 4月8日 町立岩和田児童館落成. 工費528万円. ㉕
- 7月13日 外房線電化祝賀列車運行. ㉖
- 8月3日 井上文吉氏胸像除幕式.

昭和48年

- 1月19日 名誉町民前町長井上文吉氏逝去.
- 7月17日 御宿小学校プール起工式行う.
- 8月5日 中央海水浴場において海の女王コンテスト行う.
- 10月1日 組合立布施小学校々舎落成式. ㉗
- 10月15日 小さな親切運動推進本部発会式を御宿小学校体育館で行う.
- 10月19日 岩井町長欧州視察に発つ.
- 10月31日 御宿町議会議長中村喜一氏(58歳)逝去.
- 11月27日 じん荼処理場より出火, 前方山林11000㎡を消失. 当町及び大原町消防団が出動. 損失額3,001千円.

昭和49年

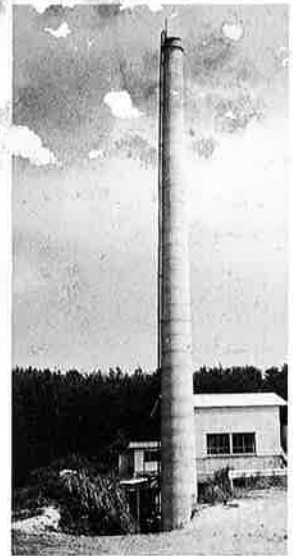
- 2月27日 御宿町議会議長故中村喜一氏, 勲五等叙勲祝賀式を自宅にて行う.
- 5月16日 御宿町農業協同組合長神定長治氏, 春の叙勲において勲六等を授与される.
- 7月15日 御宿町歴史民俗資料館建設の入札を行う. 請負金額7000万円, 施工 屋代工務店.
- 7月15日 名誉町民大場善蔵氏逝去.
- 7月24日 御宿町火葬場竣工し, 県の検査をうける. 工費1266万円.
- 8月1日 8月1ヵ月間, 町役場職員, 消防団本部, 第2分団員を主体に緊急業務行う. 救急車依頼件数32件, 出動件数32件(内未搬送4件) 負傷者36人(重傷3, 中傷7, 軽傷26)

昭和50年

- 3月31日 御宿町歴史民俗資料館竣工. 岩和田小学校特別教室竣工.
- 3月31日 合併20周年を迎える.



⑱



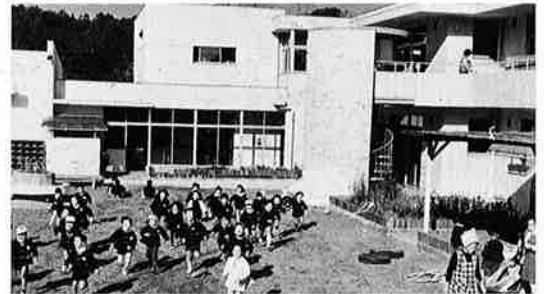
⑳



㉑



㉒



㉓



㉔



㉕



㉖



㉗

ふるさと御宿の限りなき発展をねがって

新成人を囲む座談会

●出席者(敬称略)

千葉佳信(須賀)

岩井町長

吉野瀧男()

司会 加藤広報係

中島幸子(新町)

吉野和男(上布施)

君塚万里子(実谷)

町の歩んだ20年

司会 きょうは新しく成人を迎えられ、身心ともに気力に満ちた方にお集まりいただき、新成人としての町政に対する希望や、ご意見を発表していただきたいと思います。

はじめに町の歩んだ20年について、町長さんから概略お話しいただきたいと思います。

町長 みなさんに、町が合併してから今日までの歩みを概略申しあげて、参考にしていただきたいと思います。

いまの御宿町は、あなたがたが生まれた翌年、(昭和30年)に合併したわけです。

当時新しい法律が生まれ、そのころの財政規模では町政運営が無理ではないかということで、国の強い力で合併を促進しました。当時、全国で5位の町村が合併したと思います。そして新しい御宿町が発足しましたが、将来町はどうして生きようかと考えました。たまたま御宿のおかれた位置・景観・自然・都心からの距離等の環境を考えますと、観光を伸ばすことが最も望ましいという結論を得ました。

御宿町は、従来から半農半漁の町でしたが、新しい長期計画を立て、その中でも農漁業を中心とした、観光の進展をはかろうという基本計画をたてました。

合併当時は人心が安定しておらず、観光施策を打出しても住民がなかなかついてきませんでした。その間、当然のことながら行政として、教育・住民福祉・観光・農・漁業の振興等いろいろやってきましたが、いま考えてみるとどうしても観光で生きるんだという考えに、あやまりがないと自信をもち始めております、ということ、ここ数年前から夏期に集中しますが、約100万人位のお客さんが当地へきます。そして観光による所得は、農・漁業からの所得を上回っています。一方、観光による受益者じゃないという町民もおりますが、町の政策等によって、1人でも多くの方が受益者になれるよ

う努力をしています。反面、観光によって町の教育うんぬんを論じられていますが、なるべく小さなころからある程度抵抗力をもつということも、将来を考えた場合必要でしょう。小さなころから試練をうけることもやむを得ないのであるという考えから、学校当局や青少年相談員の活動を大きく期待して、観光による公害を最少限に食いとめていく意味で、諸々の施策をしています。

もともと地方自治体の目的は、町民の皆さんが健康でしかも世間の水準以上の所得を得られることが最終目標です。この考えは、みなさんの家庭とまったく同じだと思います。

無限の可能性を秘めた“20歳”

司会 新成人としての自覚をおきかせください。
千葉 夏になると町がにぎやかになります、従来ですと、自分たちがその中へといっしょに同化してしまいました。これからは責任を問われる年代ですから、第三者の立場として観光客をみたいし、自分たちの町を守る(町の利益のために)意味からも、見方を変えたいと思います。

吉野(和) 安定した職があって、人にめいわくをかけない。つきなみのことばですが、町が発展していくために自分がどうしたらよいか、自分のおかれた立場をよく見直してみたいと思います。

吉野(瀧) 成人を迎えたからといって、別に考えは変わりません。町政の面では、観光を重視するのも結構ですが、観光客に影響される点が多い、とくに学生時代はその傾向が強いから、健全な町づくりをして町を守っていく助けをしたいと思います。

君塚 20歳になったからといって特に考えはありません。失敗を恐れず、しっかりした気持でやっていきたいと思っています。

中島 御宿という名が有名で、勤め先でも話題

になります。御宿を訪れた人により印象を与えるために、町の人も十分気をつけたいものです。外観だけをとった有名でなく、これからは中味の濃いものにして、観光客により印象を与えるようおたがひ努力したいものです。

司会 町もこととして成人を迎えたわけですが、これからの御宿は、どのような考え方でいくのかご紹介してください。

町長 ここ数年来、観光産業を重要産業として取り上げましたが、今後もその方向で進みます。観光産業については、夏だけに集中した観光でなく、年間にならしたものにしていけるには、どうしたらよいか真剣に考えました。

しかし近年、地価の上昇に伴い不動産業者が土地を買いあさり、これによって乱開発されては困るので、なんとか企画性と信頼性のある者と取り組んで、開発を抑えようと、考えておりました。たまたま県の企業庁(前の開発庁)が夷隅郡の開発に力を入れ、所得向上を図ろうという話がありました。町でも乱開発防止、夏季に集中する観光人口の平均化と、計画が一致したので取り組みました。岩和田地先の約30万坪、須賀から高山田(赤羽)にかけての開発は、高尚な保養地の計画です。しかし、このような開発には当然水が必要になります。そのためにダムをつくる必要が起きてきます。

計画どおり保養団地ができますと、そこへ水を供給しなければいけませんから、現在ダムの工事にかかっています。この開発事業によって、人口1万2千人くらいにはもっていきたいと思います。一般家庭にとっても経済的な家族構成があるように、1つの町にしても適正な人口規模というのがあります。それによって住民にプラスし、最も理想的な町の運営ができるという考えをもっています。近い将来、房総スカイラインや外房線の複線化によって、京葉工業地帯等は、通勤範囲に入ってしまう時期がくると思いますので、いまその準備をしてい

るといえます。やはり空気のきれいな住みよい所があれば、都会の人も住みたいと思います。そういう空間地を与えることは、国民としての義務じゃないだろうか。われわればかり空気のきれいな所に住んで、都会の人はきたくないじん茶の中で住んでいけばよいということじゃなく、御宿に住まわしてやろうじゃないかという、大きな気持になることも必要でしょう。

岩和田海岸の方は、青い空をながめながらスポーツのできる体育施設、ゼミナールハウス等を計画しています。一方、須賀～高山田地先はダムを湖水がわりにして、その周辺をスポーツ施設とそれに点存する山を自然のままいかして、緑をこわさず住宅を作ります。こうした計画から数年後には、1万2千人位の人口をようして、しかも年間お客さんがくるような環境にしていきたいと考えます。これによって他の産業もうるおい、調和のとれた秩序ある発展が望めるという構想です。成人になった町が更にそこに力を注ぎ、大きくいえば日本一の観光地にしたいということです。それには観光受益者以外の人にも、観光に対する理解がなければいけません。

千葉 町の進むべき姿について理解できました。現在の町の状態をみると、夏の観光に明け暮れているが、町民のための文化教育面の糧となるような場所がもっとほしいですね。

町長 いま歴史民俗資料館をつくっており、そこに図書を入れるよう計画しています。スポーツ関係は、いま進めている開発事業が完成した時点で、御宿の町民に対してある程度開放してほしいという要求はします。

千葉 定住人口4千人を増やすということで、旧住民と新住民との融合をどうやって計っていくのですか。

町長 非常にむずかしい問題ですね。しかし最近には1つの部落ということになるかと思いますが、旧住民との交流をどうやってもっていくかむずかしい問題です。

吉野(和) 人口5割増(4千人)が適正人口規模ということですが、その根拠は？

町長 係数的にこれだけの人口がいいというのはありませんが、町行政をあずかっている場合に、職員構成にしてもロスが少なくすむ。地方交付税についても、人口規模1万人が1つの目安とされていたときがあります。財源の問題・役場の構成にしても、その他行政機関にしても、ほんとうの力がついてある程度財源的にも行政形態にしても、1万2千人が町の面積から適正な規模であるという、国や県の専門家の意見もあります。

吉野(和) 4千人ふえる見込みの人たちは、ど



千葉さん 吉野(和)さん 吉野(滝)さん 岩井町長 君塚さん 中島さん

ういう地域に入ってくるのですか。また、そのような施設はいつごろできるのですか。

町長 この人たちを新町区とかに入れることは不可能ですね。1つの新しい行政区をつくり、一般町民にとけこませていくのは行政手腕でしょうね。施設については、岩和田地区については52年度までにつくります。こちら(須賀～高山田)は1、2年おくれるかもしれないが、水道は、52年10月ごろには供給できるよう進めています。

吉野(和) 将来町の合併問題の見通しは？

町長 国や県から合併機運がでてきても、将来御宿は自立できるんだということを考え合わせた場合、この程度の人口規模にもっていくことが望ましい。

吉野(和) いまの御宿の農家は100%米作中心ですが、農政面はやはり米作中心に進んでいくのか、また農家の人にやる気をおこさせるような施策は。

町長 町でも農家経営の専門家を農家へどんどん入れていって、やる気をおこさせるという手段を講じています。技術指導も必要ですが、要はやる気です。適地適作を真剣に考えなさいといいますが、なかなかむずかしいですね。

吉野(滝) 観光を重視するということですが、受け入れ体制が万全でないように思います。

夏になると駐車場が足りない、それに伴う交通渋滞の解消も望まれます。

町長 御宿地先の場合、あれだけの駐車場があるのでなんとかまかなえると思っていますが、やはりお客さんに対しても、協力を要請しなければ解決はむずかしいと思います。夏の駐車場もこれで十分だということは考えていません。何とか積極的に対策をたてないといけません。

君塚 ダム工事に伴う開発によって、水害等の心配はありませんか。

町長 工事に伴う水害・災害に対する処置は十分やっています。

司会 これからは“ふるさと”をもっと大切に

中島 観光面に力を入れるのも結構ですが、定住人口を1万2千人位に増やすというお考えなら、御宿をいったん離れた人が、住みよいところだからとまた帰ってくるような、施策をとっていただければ人口増のためになります。長い間、御宿住民として住んでいた人たちが、これからも住みつづけられるような、あたたかい町政に力を注いでほしいものです。

町長 ごもっともです。よその人を入れるのも結構ですが、従来の町の人か帰ってくるような環境にもっていくべきだという、その通りです。

千葉 祭りをもっときちっとやってほしい。これからは、ふるさとへ帰ってくる人が多くなると思うから。町民全体で楽しめる娯楽が必要でしょう。

町長 大歓迎ですね。どうですか、千葉さんのご意見に意を強くするのですが、皆さん方はお祭りについてどう思いますか。

千葉 近ごろはみこしをかつぐ人がいなくなったので、お祭りをやめてしまったと思うのですが、何らかの形でやってもらいたいですね。かつぎ手がないからやれないというのはこじつけて、1,000人も2,000人もの人でかつぐわけじゃなし、やれると思います。やる気じゃないですか。

町長 あなたがた若い人からそういう意見がされたことは、大変意義深いことです。やはりふるさとのお祭りや民謡は、日本民族として後世に残していくべき大事なことです。大賛成です。なんとか御宿地域だけでなく、布施や岩和田地区も同じ日にやれるようにしていきたいものですね。合併して20年もたつたのですから、旧岩和田とか布施とかいう考えをすて、一本化してやっていけるよう氏子総代会に相談して、おおいにやってもらいましょう。

最後に日本国民として、御宿の町民として、おたがいに信頼し合い、豊かな心、気持ちは豊かにもとうという時代がきましたので、これからは行政面でも訴えていきたいと考えますので、若いみなさんの力をどんどん貸していただきたいと思っています。

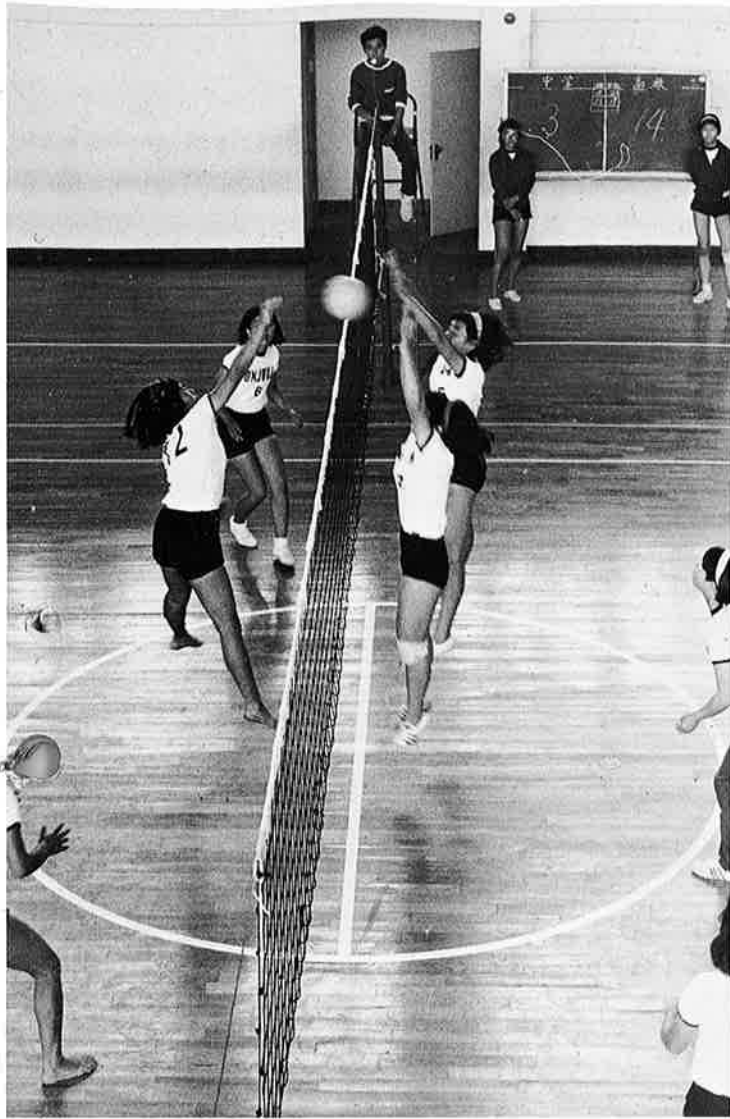
御宿の次代をになう

御宿町は、合併以来一貫して教育行政に重点をおき、施設づくりに取組んできた。遠くは五倫こうにみられるように、伝統にはぐくまれた教育の町の面目がいよいよ結実しようとしている。管内3つの小学校と中学校は、県下でもまれな教育施設として最高水準をゆくものである。こうした恵まれた環境のもとで教育の機会均等がはかられ、御宿の次代を担う人材を着実に養成しているといえよう。

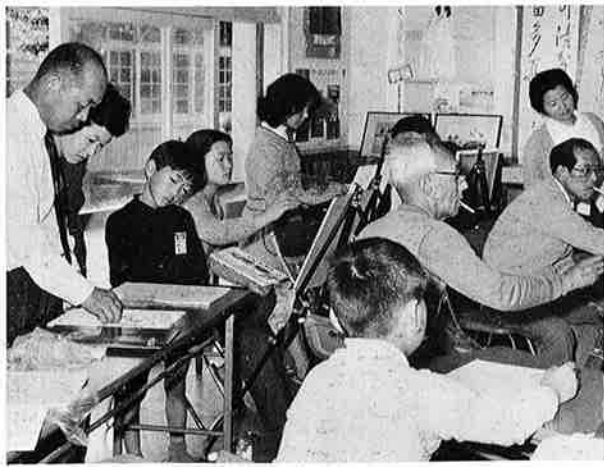
観光立町を前面におした当町にとって、観光と教育のむずかしさに挑戦し両立させているところはまれであろう。将来の町を背負って立つ若い芽に対して、町政は先見性を發揮し、大胆な先行投資によって教育施設の整備をはかった。また道徳教育実践校として、また小さな親切運動推進の町として、次代を担う若い世代の教育に力を注いでいる。

教育





社会教育



明るく豊かな町づくり

限られた少ない財源を有効に活用し、町合併以来積極的に公共施設づくりの投資がされてきた。このため県下の類似団体と比べて、公共施設の整備は最右翼に位置している。

地域住民の理解と町政に対する関心度が、施設の整備を一層促進したともいえよう。道路体系の整備はますます質の高いものとなり、産業の発展・住民生活の向上に役立っている。

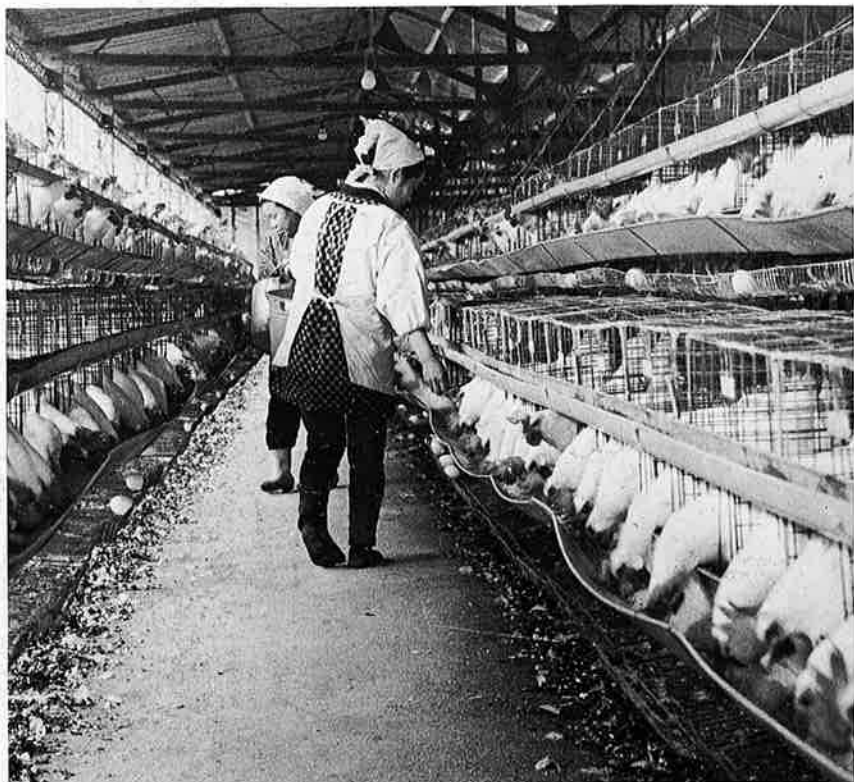
漁港・学校・道路・水道・保育所・プールその他社会福祉施設
の環境整備事業等、どれをとっても水準以上のものである。
農林道整備・農業基盤整備も着実に進み、農産物の出荷搬出
にも利便がはかられている。

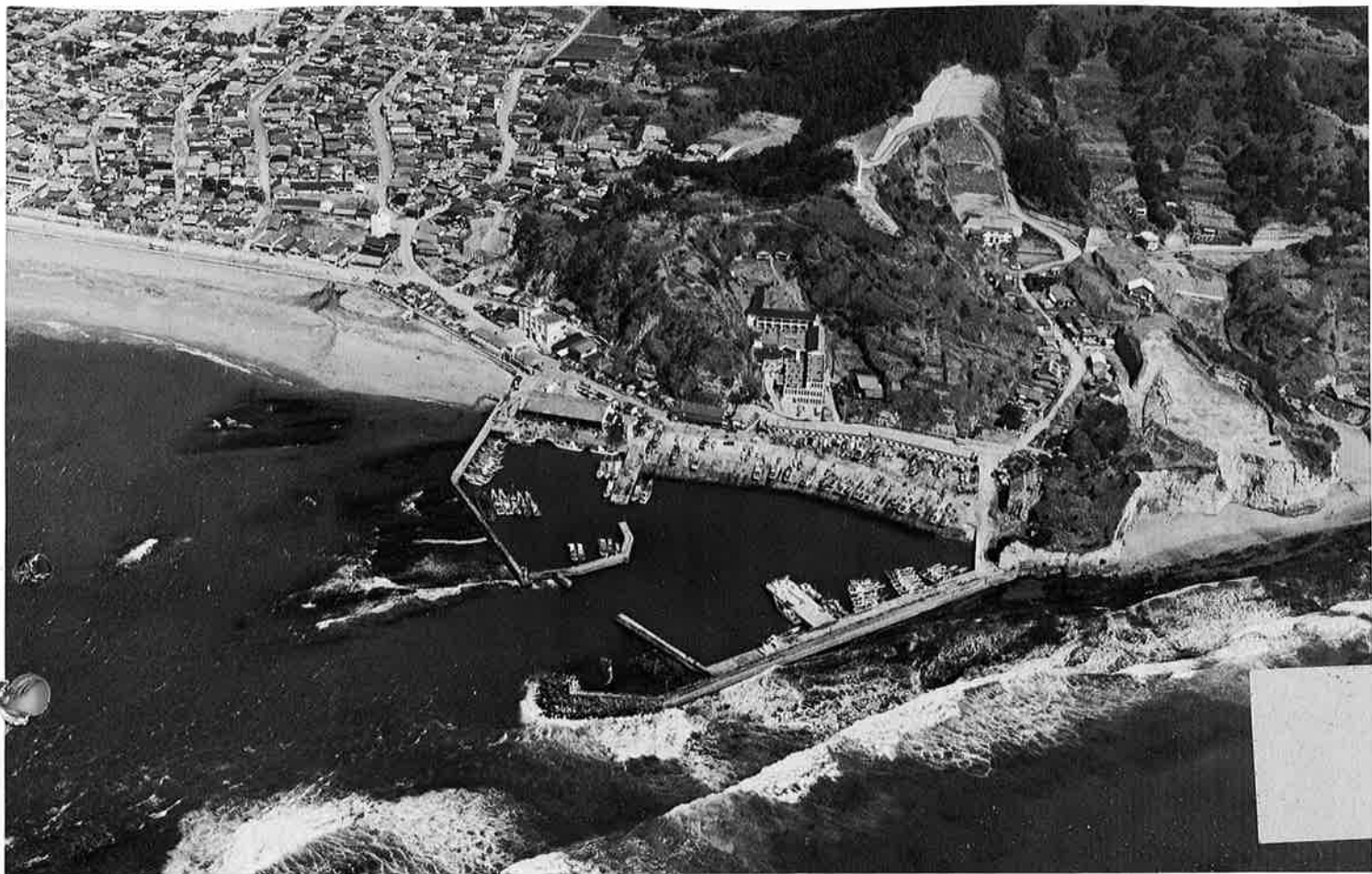
漁業振興策も、漁港の拡大整備や漁礁・漁具倉庫・先達船・
団体助成など、基幹産業へのテコ入れも進んでいる。

建設



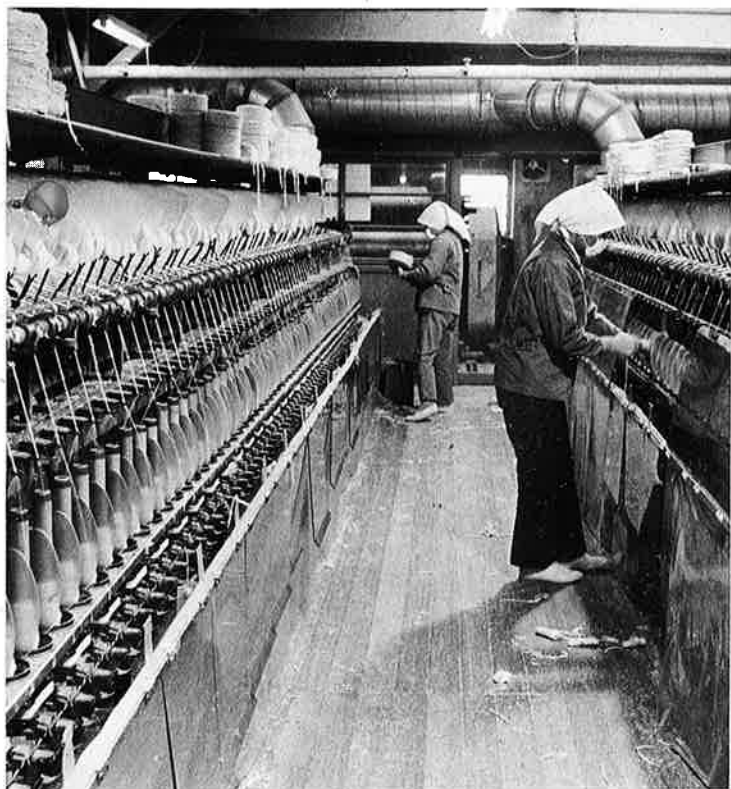
農漁業



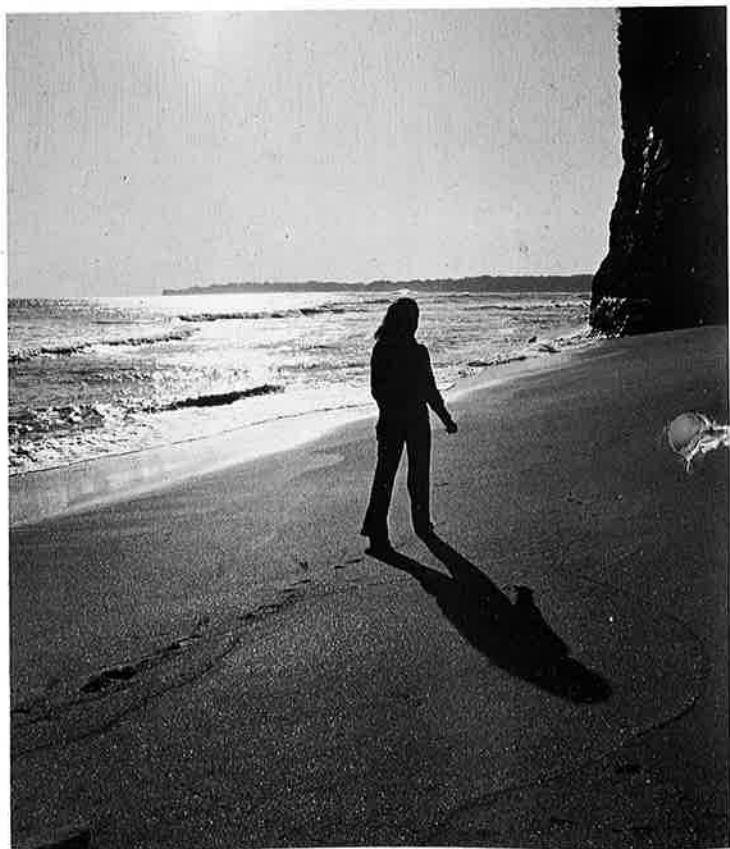
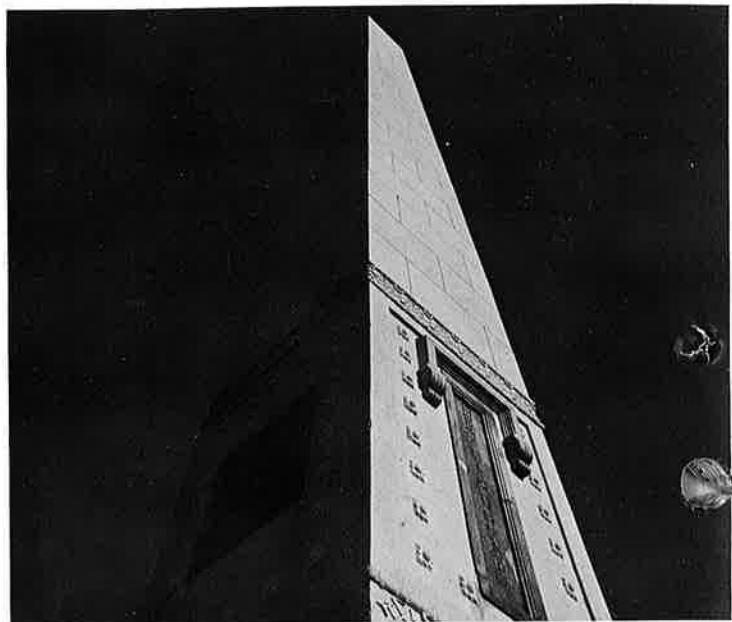


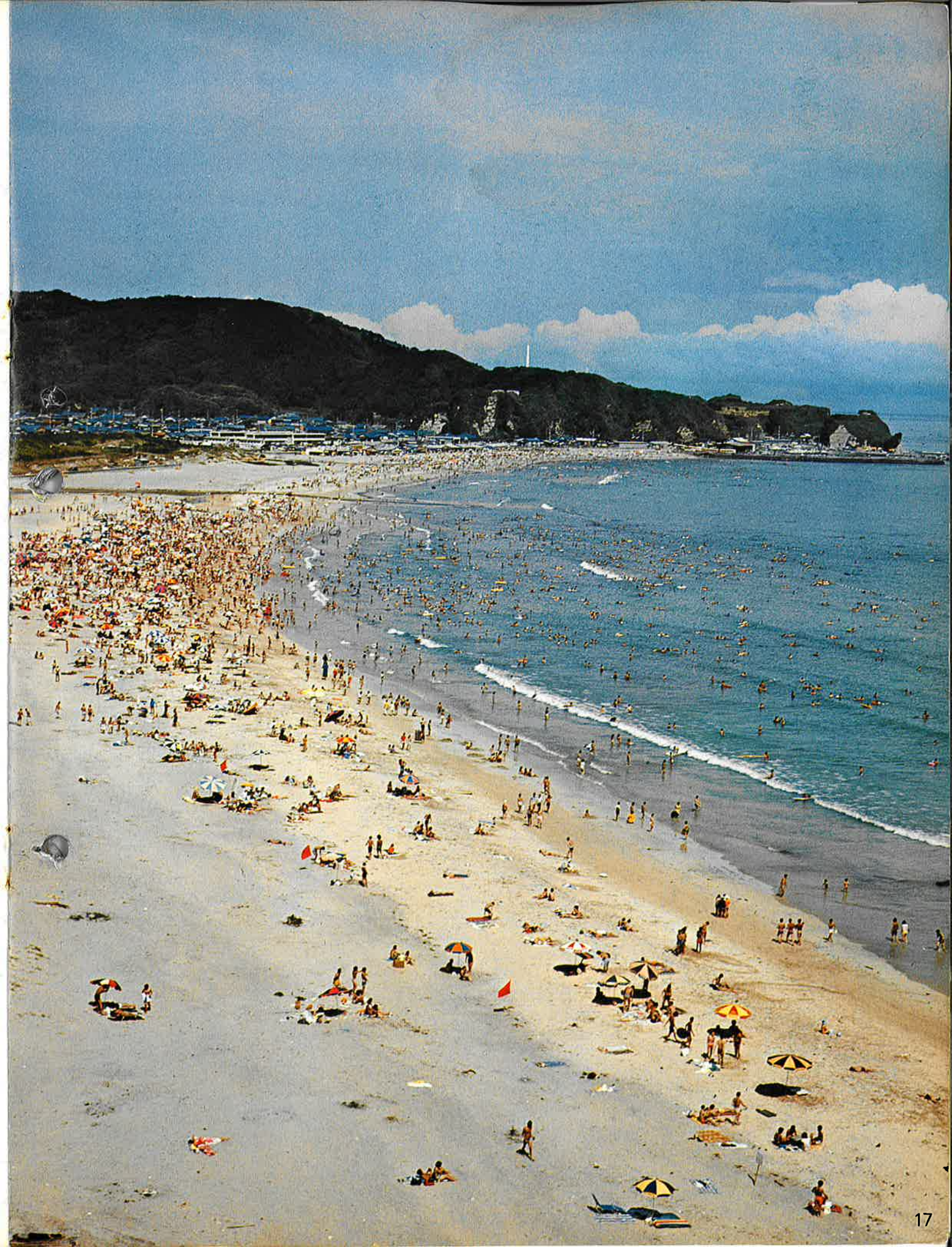


商工業



観光





大いなる御宿の未来像



塔と沙漠と、美しい御宿

三方を緑の丘陵に囲まれ、南は2キロの白い砂浜と奇岸原始の海食海岸で太平洋に接している。山の上のメキシコ塔は、この町の人たちの心の温かさをものがたり、童謡“月の沙漠”は、ここの砂浜のあふれるロマンを唄っている。豊かな風光のなかに、静かに息づいている緑の多い町並み。詩人や画家・作家の目にとまらないはずはなく、古くから絵・写真・映画・小説・テレビドラマの舞台となっている。観光地化へのスタートが県南より遅れたことは、いまとなっては幸運となった。全国的にいま反省されている低俗開発、虫食い汚染から町を守れたからである。それが計画的な大開発の可能性を生んだと言える。

夢のリゾートづくり

御宿町の観光地化の始まったのは、昭和40年頃からである。観光客数、昭和38年25万人、昭和42年75万人、昭和49年112万人、そしていま計600億円の大規模観光開発が、西と東にくりひろげられている。

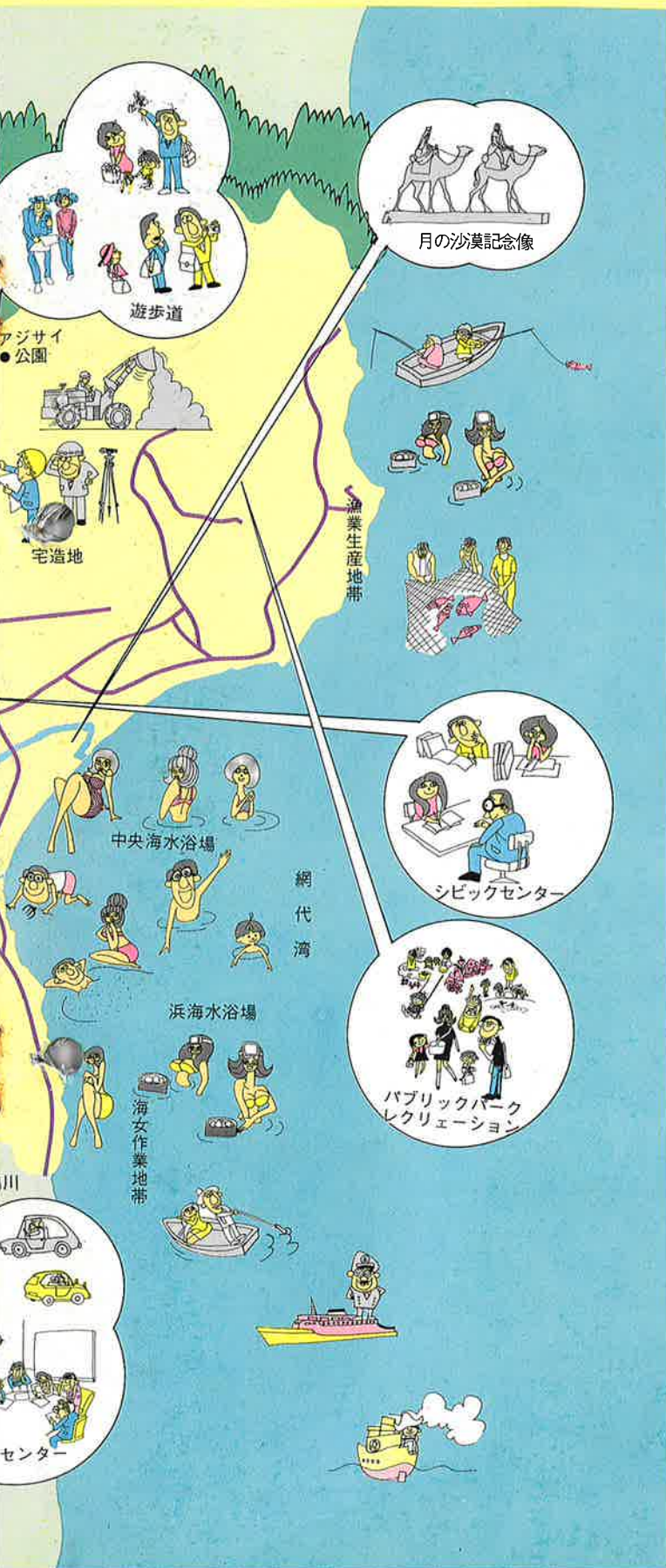
この地域開発の目的は、地域に利益をもたらすためのものである。どんな時勢が来ようとも、変ってはいけないことはただ1つ。町は町民の住み良い町でなければならないことだ。

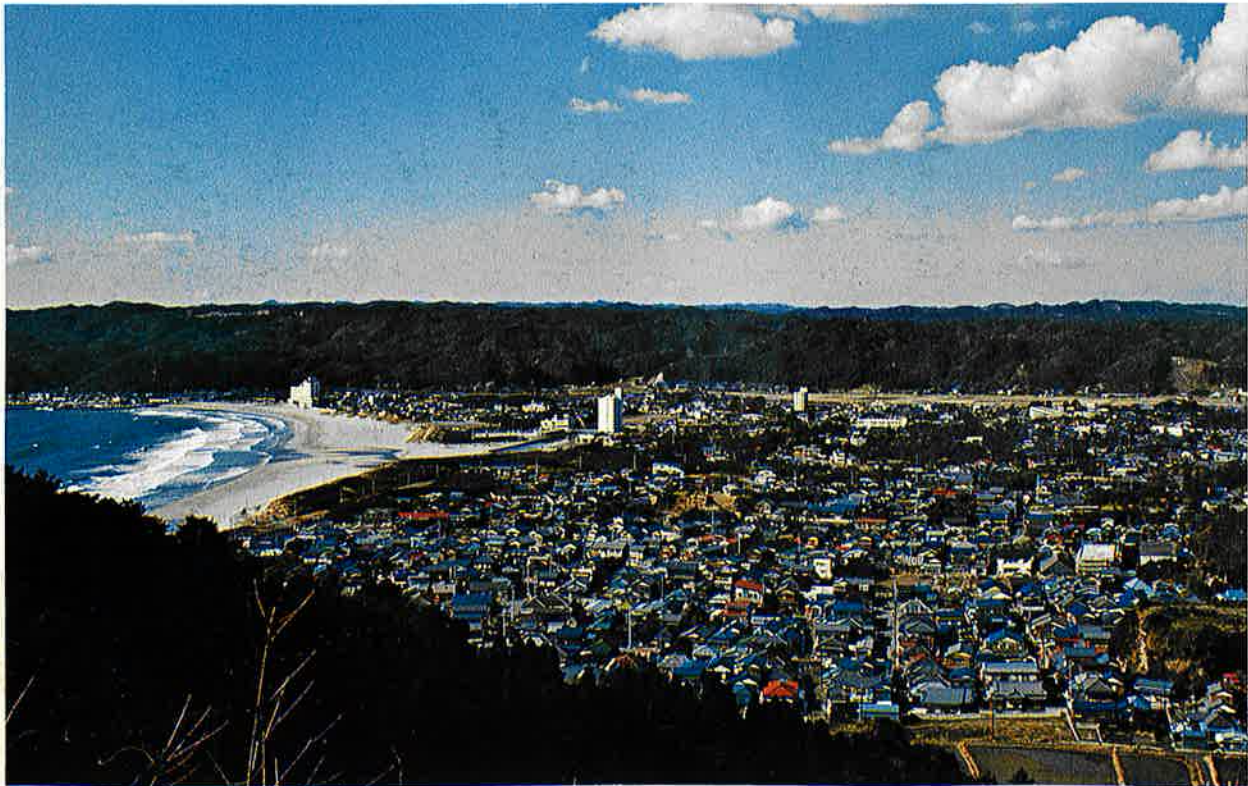
“日本の御宿”を目指そう

目先だけの安直なピンク観光に走らないよう気をつけよう。ネオンにストリップの歓楽境に良い子どもは育たないし、輝かしい未来はあり得ない。

軽井沢のように上等な観光地になろう。そこには東京の一流の店が、メンツにかけても店を出したがる。サントロペのようなしゃれた観光地になろう。コートダジュールの小漁村サントロペは、今やカンヌ、ニースより名が高く、世界のリゾートファッションがここから生まれている。

御宿——そのロマンチックな名前、都会からのアプローチ、パアッと明るい風光、若いはつらつとしたイメージ、その町並み、漁港・漁民の作業、その生活——御宿のすべてが観光の要素になる。サントロペでもそうであるように。御宿は“日本の御宿”を目指そう。





町民すべてがしあわせに

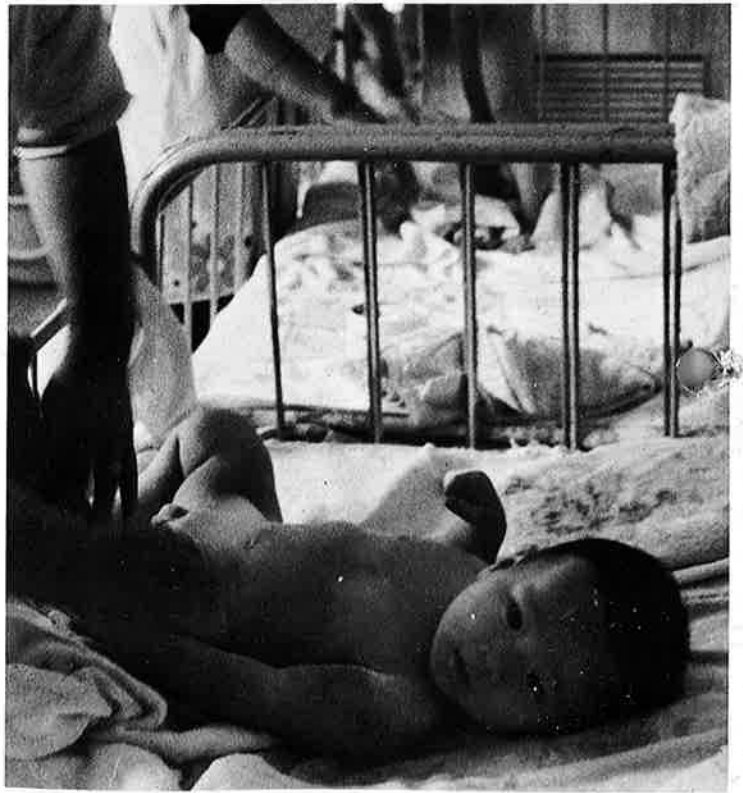
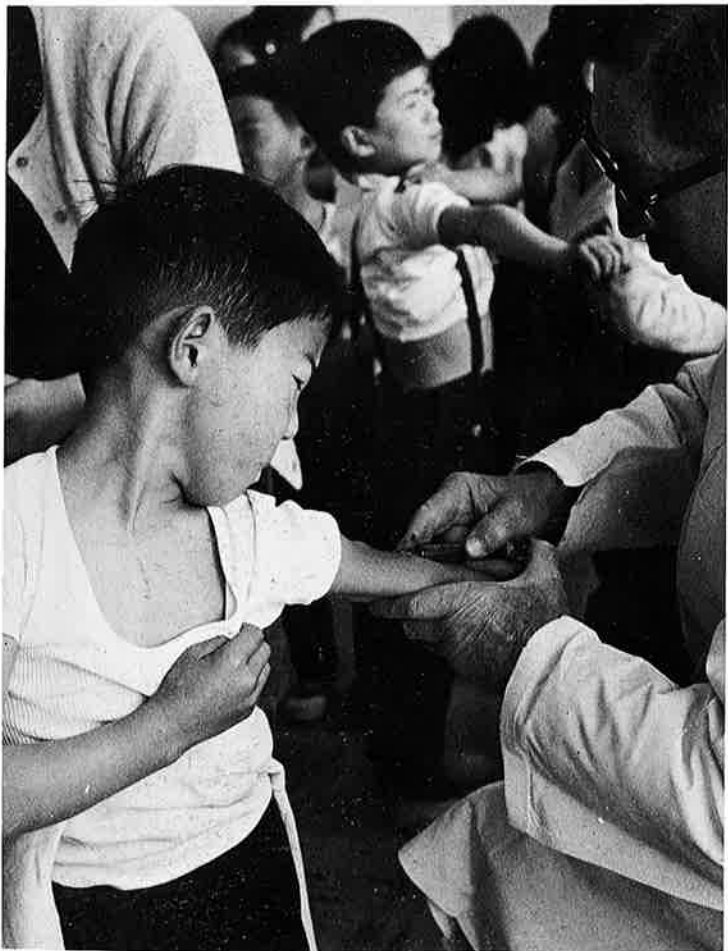
幸せの追求は、はてることがない。町民すべてがしあわせになることは万人の願いである。明るく住みよい町づくりを担う福祉行政は、町政の大きな柱でなければならない。恵まれない人たちへのあたたかい援助、乳幼児の健康診断・保育、老人対策、身障者への愛の手、青少年の健全な育成、福祉や障害年金の充実など、福祉行政の守備範囲は無限ともいえる。日のあたらぬ人たちへの手厚い援助の手をさし

のべ、町民が等しく行政の恩恵に欲することが望ましい。町社会福祉協議会を中心に、きめ細かな施策を年々充実させ、住みよい町づくりをし、住民福祉の向上に努力している。老人単独世帯や、ねたきり老人の相談相手にはホームヘルパーが活動しており、またさまざまな心配ごとに対して、町民生委員が中心となって、問題解決のためにあたたかく手助けをしている。

福祉



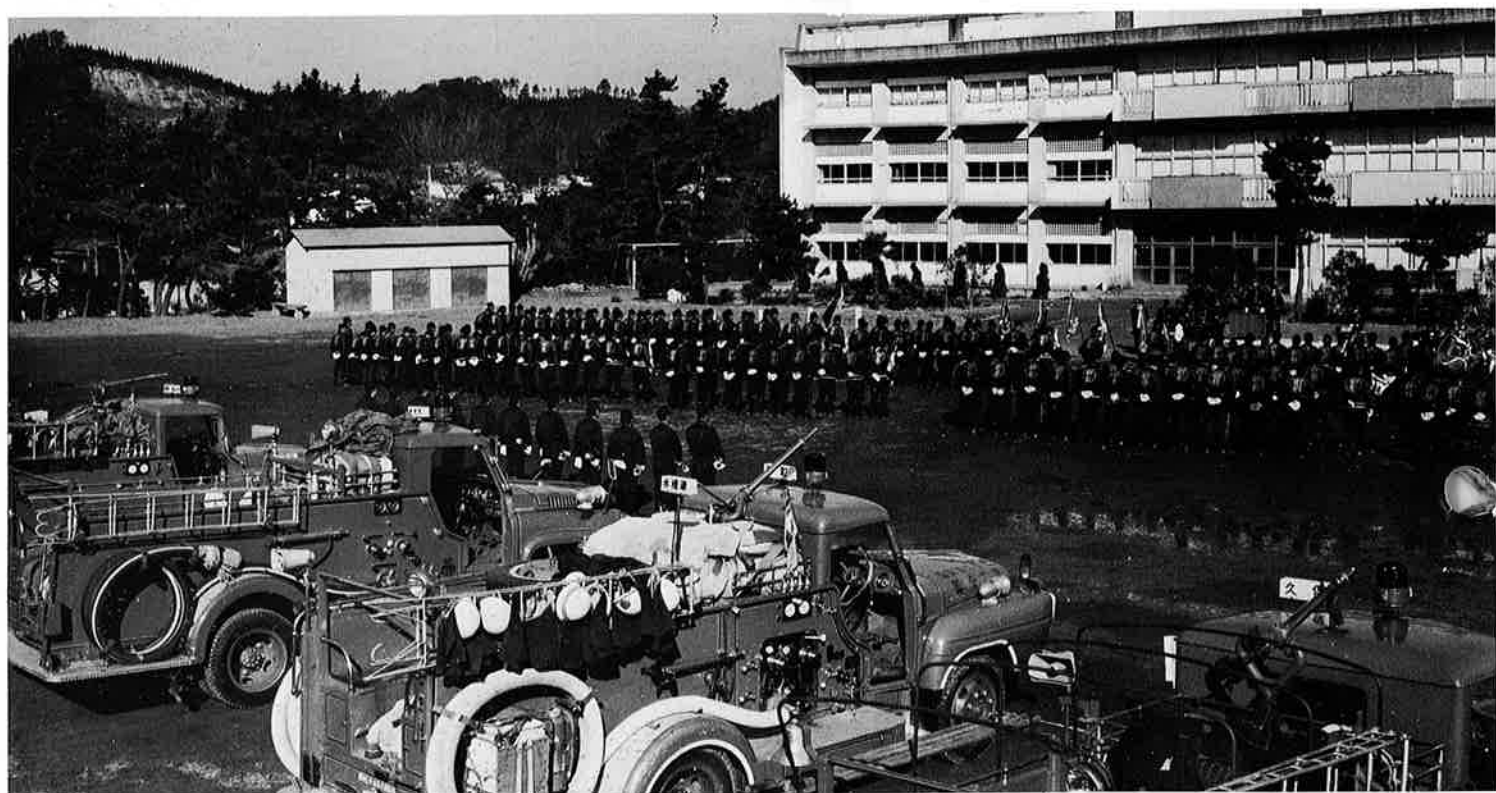
保健



衛生



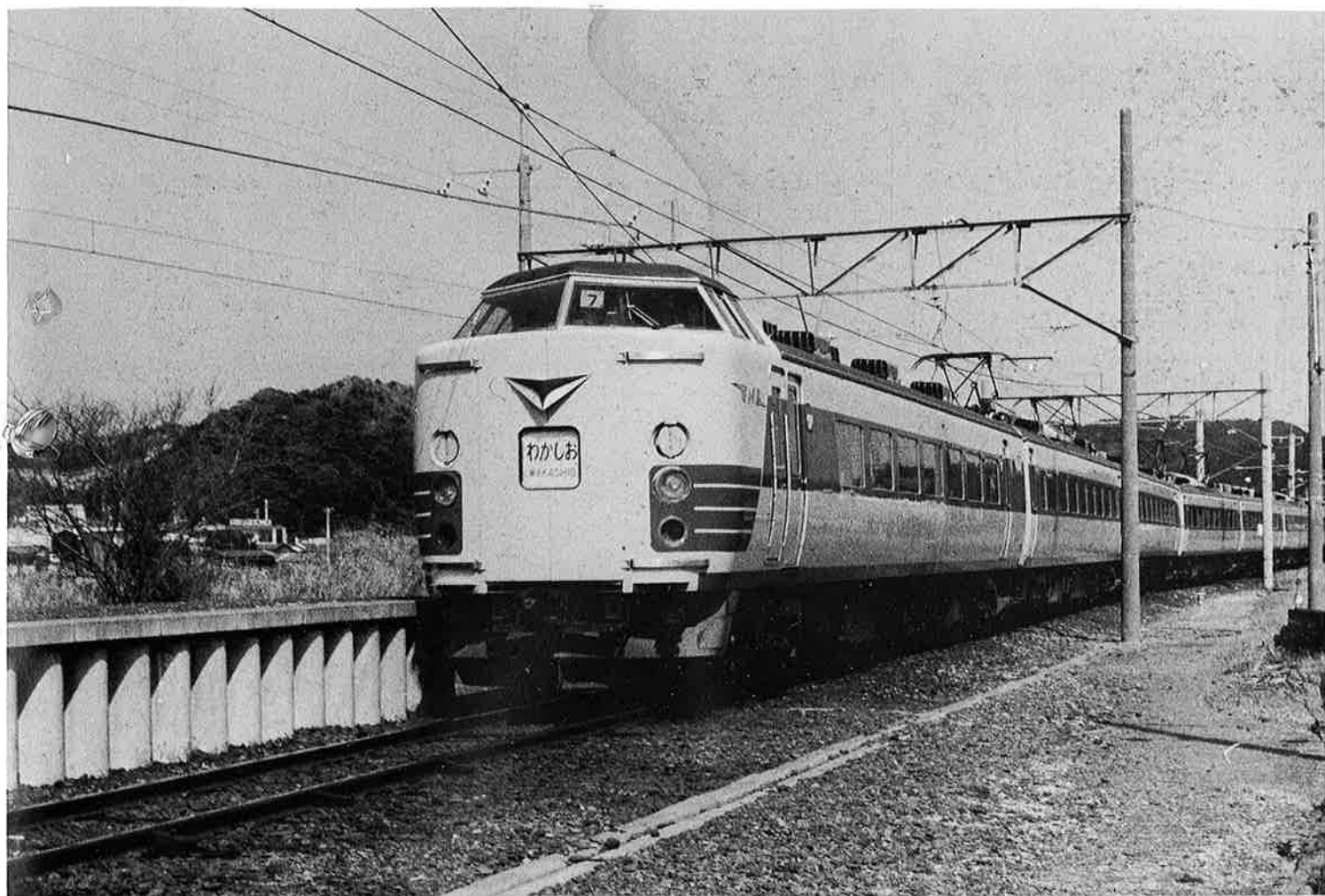
防災



通信



運輸



町民の手足となって

町民の福祉，所得向上のための政治——この大原則を守りながら町民の代表で組織されている町議会は，文字どおり町民の手足となって，住民生活の向上のため熱心な論戦を繰り広げている。民意を反映した町政推進のために，きびしく，しかも適確な情勢判断によって議会運営にあたり，町民の声なき声の代弁者として是是非非の決定に熱意を傾注している。限られた財源を有効に活用し，年々行政需要の多くなる昨今，

少ない経費で最大の効果をあげるために英知を傾けている。建設事業の比重の高い当町の財政において，ここ1・2年の傾向は人件費の予算に占める割合が高まり，新規事業に着手することが困難になってきている。当然増経費がふくらむにつれて財政の柔軽性が失われ，新規財源のねん出もむずかしく，今後の財政運営はきわめてきびしいものとなり，そのかじ取りはこれまでになくち密な計画が要求される。

議会 行政



議長 江沢富士松



副議長 江沢

御宿町行政機構一覽表



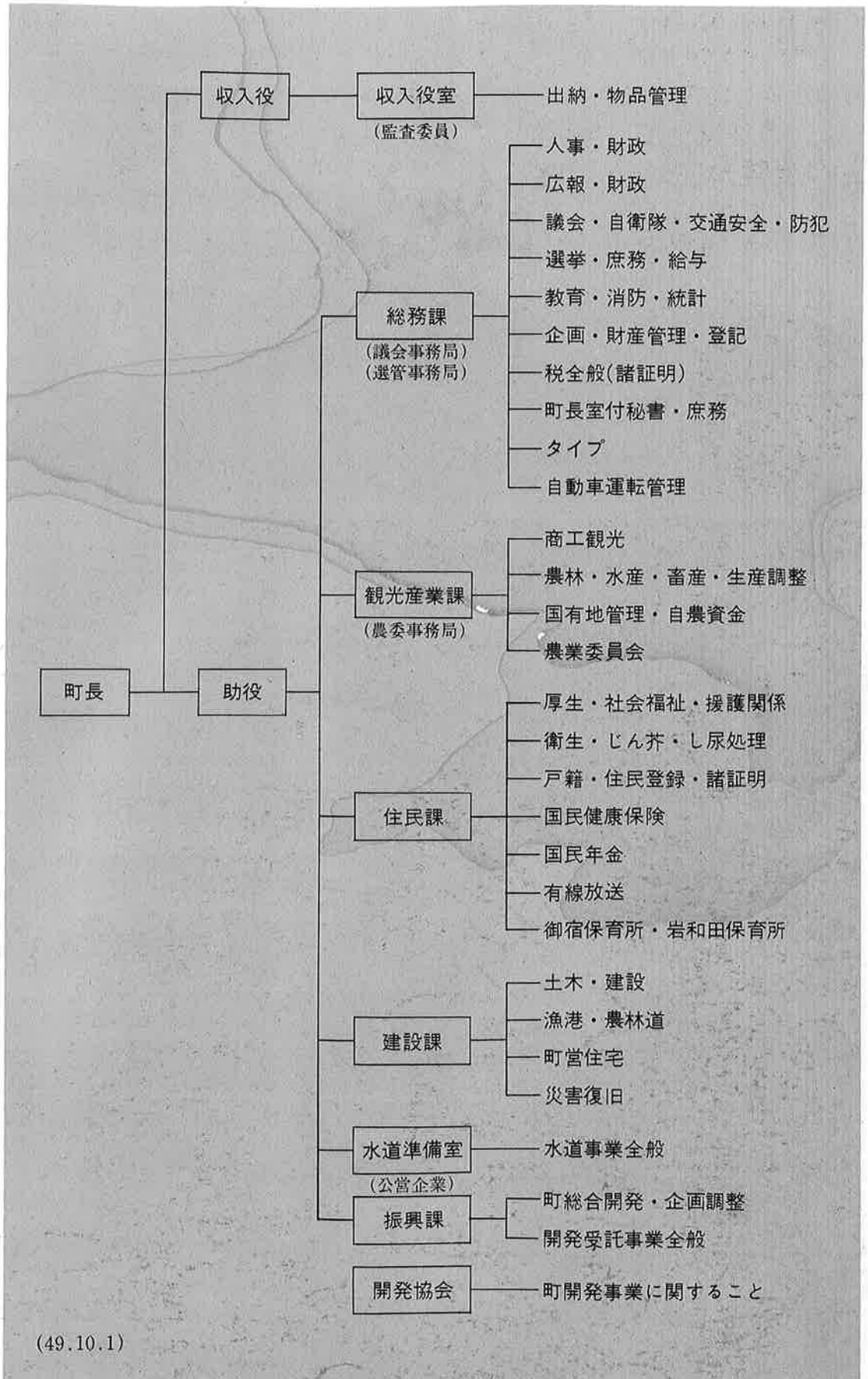
町長 岩井敏夫



助役 浅野興典

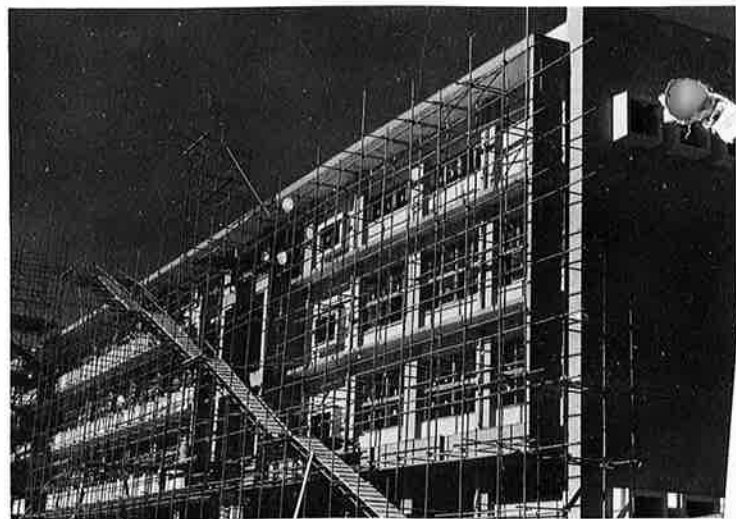


収入役 和田正美



(49.10.1)

財政



運輸・通信

●運輸・通信

御宿～主要駅への所要時間
料金 (昭和49年)

駅名	料金	所要時間	備考
大原	50円	時間 9分	8.2km
大東	100	21	16.1km
茂原	170	42	31.1km
千葉	340	1:26	(自由)特急500急行200 68.8km
船橋	440	1:44	82.5km
錦糸町	490	1:28	特急
両国	570	1:40	急行
山手線	570		(自由)特急600
蒲田	570		(グ)特急1,700
川崎	670		123.4km
熱海	1,080		
名古屋市内	2,400		
京都	3,110		
大阪	3,210		
広島	4,010		
甲府	1,110		
大宮	680		
福島	1,870		
仙台市内	2,390		
青森	3,700		

●電話施設状況

年次	開通加入電話数						公衆電話
	総数		単独電話数		共同電話数		
	事務用	住宅用	事務用	住宅用	事務用	住宅用	
32	184	180	3	180	180		1
39	335	269	55	271	221	39	11
49(昭)	2,047	969	1,078	1,811	894	917	47

●郵便物取扱状況 (48年度)

区別	引受	到着	差立	配達
普通	205,495	397,850	106,580	496,765
特殊	16,060	27,740	15,710	28,090
小包	5,418	10,499	5,332	10,585
特殊	407	1,095	407	1,095

(資料: 御宿郵便局)

●電報取扱状況

年次	国内			
	総数	発信	着信	中継信
30	13,506	3,751	9,710	45
38	8,824	2,919	5,894	11
46	3,730	757	2,973	
47	3,156	575	2,581	
48	2,448	504	1,944	

●テレビ普及状況 49.11

年次	総数		白黒テレビ		カラーテレビ		普及率	備考
	契約世帯数	契約台数	契約台数	契約台数	契約台数	町世帯数		
49	2,132	745		1,513		97.0%	2,199	

●御宿有線テレビ放送加入状況 49.12

組合名	加入戸数	加入区域
浜テレビ合同受信施設組合	200戸	浜全区
高山田テレビ合同受信施設組合	72	高山田全区
須賀テレビ合同受信施設組合	200	須賀区一部
御宿テレビ共同受信施設組合	350	久保全区 新町・須賀区一部
新町テレビ共同受信施設組合	280	新町区一部
岩和田テレビ合同受信施設組合	520	岩和田・六軒町全区
計	1,622	

●自動車保有台数 49.4.1現在

車種	御宿町	夷隅郡市計
トラック	272台	3,329台
貨客	181	2,067
バス	20	169
普通乗用	4	65
小型乗用	774	9,364
三輪	—	13
特種	6	138
計	1,257	15,145

防災・防犯

●交通事故発生状況 (昭和49年)

月別	死傷者数			人身事故件数	物損事故件数	合計
	死	重	軽			
1月	1	—	2	3件	4件	7件
2月	—	—	0	0	2	2
3月	—	1	2	3	3	6
4月	—	1	1	2	5	7
5月	—	3	7	4	7	11
6月	—	1	3	4	4	8
7月	—	—	3	2	13	15
8月	—	6	20	13	31	44
9月	—	1	3	2	4	6
10月	—	1	2	3	4	7
11月	—	—	2	3	2	5
12月	—	—	3	3	5	8
計	2	14	48	42	84	126

(資料: 大原警察署)

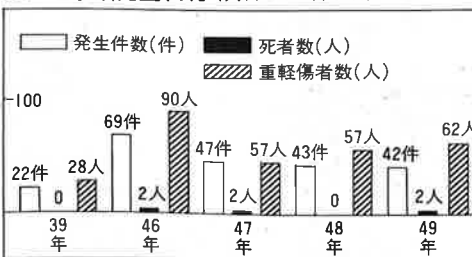
●大地震・風水害等の避難場所

(1) 御宿小学校	御宿町久保2085	23,819㎡
(2) 御宿中学校	新町68	27,484
(3) 岩和田小学校	岩和田1075	5,448
(4) 御宿町役場	久保2200	10,581
(5) 布施小学校	上布施909	12,638
(6) 実谷区民館	実谷586	1,177
(7) 岩和田青年館	岩和田788	11,250
(8) 八坂神社	須賀525	2,006
(9) 御宿家政高校	久保1551	26,582

●被災危険箇所

危険箇所数	がけ崩れ	11ヶ所	212世帯
	陸道	2ヶ所	
浸水危険箇所	新町	御宿中学校前	
	"	天の守下	
	"	黒田石綿周辺	
	岩和田	入宿	
	須賀	駅前より須賀三角間	
	浜	鶴寿司周辺	
	高山田	須麦・島田宅周辺	

●交通事故発生状況 (資料 大原警察署)



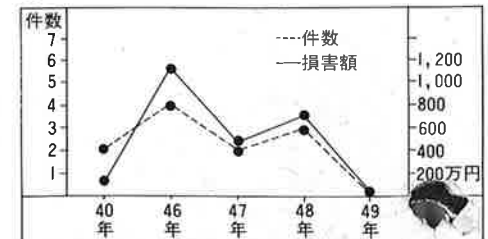
●犯罪発生件数

年次	御宿町						合計
	凶悪犯	粗悪犯	窃盗犯	知能犯	その他	その位の刑法犯	
48	1	—	18	15	23	38	653
49	—	2	27	16	23	39	654

●消防団 (昭49.1現在)

団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
1	2	8	16	9	48	181	265

●火災件数と損害額の推移



●御宿駅乗客数

昭和49年	乗車人員
1月	53,392人
2	49,373
3	56,126
4	46,859
5	51,523
6	56,163
7	90,373
8	131,913
9	54,954
10	47,338
11	59,211
12	51,328
計	748,553

観光

●観光

観光客数(人)	年次								
	42年	43年	44年	45年	46年	47年	48年	49年	
年間	743,000	848,000	1,200,000	—	—	—	—	—	—
夏季	668,000	765,000	1,055,000	1,120,000	1,204,000	1,081,000	1,087,000	1,023,000	—
旅館(軒)	10	13	18	20	20	20	22	21	—
民宿(ノ)	94	122	155	200	200	200	310	350	—
貸家貸問(ノ)	160	161	148	250	250	250	200	160	—
海の家(ノ)	38	42	40	33	33	33	32	32	—
駐車台数(有料)	3,124	4,096	8,709	12,512	12,539	13,952	15,141	13,200	—
御宿駅の収入(夏季・千円)	34,295	37,717	52,942	51,389	56,715	60,674	66,106	64,810	—
観光収入(推計・千円)	283,020	310,930	344,294	359,600	625,993	790,000	922,000	952,000	—
町の観光投入額(千円)	5,000	7,410	17,735	56,000	22,065	18,383	12,286	17,708	—

●御宿駅乗客数

年次	乗車人員
昭和48年	739,277人
昭和49年	748,553

●観光客の推移

年次	観光客			
	入込数	指数	日帰客	宿泊客
45	1,120千人	100	860千人	77%
46	1,204	107	942	78%
47	1,081	96	748	69%
48	1,087	97	740	68%
49	1,023	91	711	70%

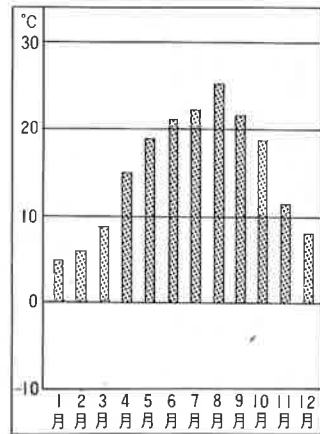
(注) 指数は昭和45年を100とする。

資料編

地勢・気象



●気温 (昭和49年)



●気象状況

年	月	平均気温 (°C)	平均湿度 (実効)%	平均風速 (%)	最多風向	天気日数			気温(°C)	
						晴	曇	雨雪	最高	最低
昭和48年	1月	7.2	64	4.8	北々西	10	12	10	17.8	-2.7
	2月	8.0	59	4.6	北々西	10	10	7.1	17.8	-2.3
	3月	8.2	57	4.7	北々西	7	12	9	18.2	-2.1
	4月	15.6	82	4.1	北	2	19	16	21.5	4.9
	5月	17.2	78	3.6	北	4	14	13	24.6	7.8
	6月	19.6	85	3.6	北	—	20	10	26.0	13.4
	7月	24.1	87	2.9	南々西	7	14	5	29.6	18.4
	8月	25.7	88	3.5	南々西	5	8	6	32.7	20.1
	9月	22.4	84	3.5	北	3	15	13	28.2	17.1
	10月	17.8	73	4.2	北々西	5	14	11	27.8	10.7
	11月	13.2	62	4.8	北々西	12	4	3	21.8	1.6
	12月	7.8	51	5.0	北々西	24	2	2.1	16.6	-2.0

●気象

気象要素	月別											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
降水量 (mm)	50.5	114.0	241.5	147.5	104.5	269.5	109.5	101.0	189.5	191.0	30.5	80.0

人口

●人口の推移 (住民基本台帳から)

種類	面積	世帯数	総人口	男	女	人口密度	1世帯
39	25.04km ²	2,089世帯	9,585人	4,419人	5,166人	383人	4.6人
40	"	2,084	9,550	4,455	5,095	381	4.6
45	"	2,128	8,656	3,965	4,691	346	4.1
48	"	2,169	8,660	4,012	4,648	346	4.0
49	"	2,177	8,583	4,018	4,565	343	3.9

●自然動態

住民基本台帳から

年	種類	出生数			死亡数		
		総数	男	女	総数	男	女
昭和46年		120	63	57	92	48	44
47		113	59	54	74	44	30
48		116	67	49	87	31	56
49(4~12月)		95	54	41	60	30	30

●社会動態

住民基本台帳から

年	種類	転出	転入	社会増減
昭和46年		431	419	△12
47		416	425	9
48		434	329	△105
49(4~12月)		244	273	—

●国籍別外国人登録人口

年	総数	朝鮮国	中国	アメリカ
昭和49年	9	5	2	2

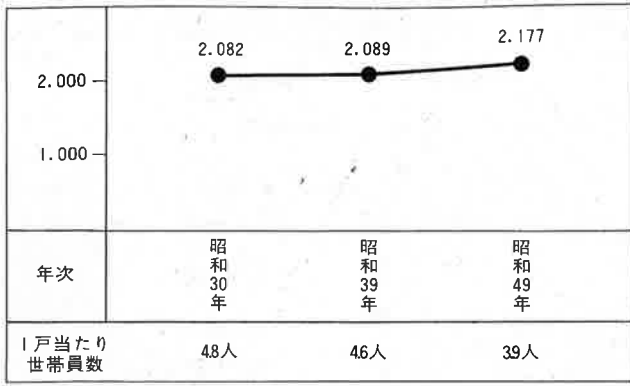
●地方別転入転出状況

区分	昭和49年3月			昭和49年7月			昭和49年12月		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
総数	(転入)								
東京都	12	6	6	12	7	5	4	1	3
千葉県	18	9	9	13	3	10	7	1	6
他県	5	2	3	1	1	0	9	4	5
北海道	1	1	0						
中国	3	2	1	2	2	0			
外国人				2	2	0	1	1	0
総数	(転出)								
関東									
東京都	30	8	22	4	1	3	8	3	5
千葉県	31	13	18	12	6	6	8	6	2
他県	4	2	2	1	1	0	6	3	3
九州				2	0	2			

●人口と世帯 国勢調査より

	昭和30年	昭和35年	昭和40年	昭和45年
人口	9,753	9,273	8,815	8,475
世帯数	2,022	2,047	2,068	2,136

●世帯数、世帯規模の推移 各年4月1日現在



●産業別人口 45年10月1日
男女15才以上就業者数

	総数	男	女
A 農業	944	390	554
B 林業、狩猟業	3	2	1
C 漁業、水産養殖業	355	310	45
D 鉱業	1	1	0
E 建設業	357	323	34
F 製造業	649	355	294
G 卸売業、小売業	585	274	311
H 金融、保険業	36	21	15
I 不動産業	11	10	1
J 運輸、通信業	281	247	34
K 電気、ガス、水道業	14	11	3
L サービス業	651	294	357
M 公務	105	89	16
N 分類不能の産業	3	1	2
合計	3,995	2,328	1,667

●5才階級別人口(国勢調査)

5才階級	年	30年	45年
0 ~ 4		1,038	562
5 ~ 9		1,274	617
10 ~ 14		1,121	735
小計		3,433	1,914
15 ~ 19		706	735
20 ~ 24		644	553
25 ~ 29		721	472
30 ~ 34		596	524
35 ~ 39		560	621
小計		3,227	2,905
40 ~ 44		516	708
45 ~ 49		469	566
50 ~ 54		479	507
55 ~ 59		454	457
小計		1,918	2,238
60 ~ 64		354	444
65 ~ 69		324	376
70 ~ 74		256	289
75 ~ 79		162	177
80 ~ 84		59	112
85 ~ 89		16	42
90 ~		4	8
小計		1,175	1,418
合計		9,753	8,475

議会・行政

●歴代町長(町村合併後)

大地重直	S 30.3.31~30.5.14
井上文吉	S 30.5.15~42.5.14
岩井敏夫	S 42.5.15~在任中

●歴代議長(町村合併後)

吉野 要	S 30.3.31~32.9.30
浅野航海	S 32.10.1~34.9.30
新井清治	S 34.10.1~40.9.30
関 龍雄	S 40.10.1~44.9.30
中村喜一	S 44.10.1~48.10.31
江沢富士松	S 48.12.4~在任中

●歴代助役(町村合併後)

相原誠三郎	S 30.10.18~38.10.17
岩井敏夫	S 39.1.10~42.4.17
佐藤清司	S 42.12.20~45.10.31
浅野興典	S 47.4.1~在任中

●歴代副議長(町村合併後)

渡辺胤生	S 30.3.31~30.9.30
市東三郎	S 30.10.1~32.9.30
新井清治	S 32.10.1~34.9.30
岩崎栄一郎	S 34.10.1~40.9.30
中村喜一	S 40.10.1~44.9.30
江沢富士松	S 44.10.1~48.12.3
江沢一雄	S 48.12.4~在任中

●歴代収入役(町村合併後)

相原誠三郎	S 29.2.13~30.10.17
佐藤清司	S 30.10.18~42.12.19
浅野興典	S 42.12.20~47.3.31
和田正美	S 47.4.1~在任中

●官公署 社会文化団体

団体名	所在地	電話
御宿町役場	久保2200	2511
千葉地方法務局御宿出張所	新町417	2954
御宿郵便局	新町397	2871
布施郵便局	上布施1400	2870
御宿駅	須賀191	2053
御宿漁業協同組合	浜413	2611
岩和田漁業協同組合	岩和田926	2011
御宿町観光協会	久保2200	2414
御宿町体育協会	"	2051
御宿町商工会	新町289	2818
御宿町婦人会	上布施	2530
御宿町商店振興会	新町286	2818
千葉銀行御宿支店	新町526	2321
運輸省御宿航空標識所	岩和田789	2654

●年次別有権者数

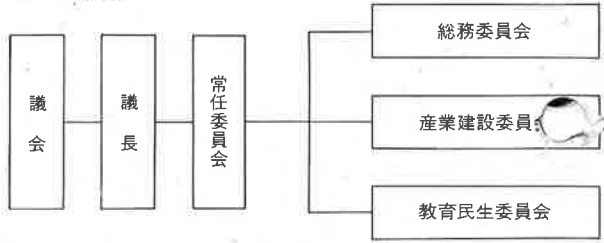
年次	総数	男	女
昭和30年	5,659	2,566	3,093
" 38年	5,771	2,610	3,161
" 40年	5,806	2,631	3,175
" 49年	6,444	2,979	3,465

(各年9月10日現在)

●業種別納税世帯数等(49.11末)

区分	世帯数	人口	世帯構成比
給与	1,006	4,083	46%
農業	532	1,968	24
漁業	355	1,425	16
商業	200	770	9
製造業	76	298	4
その他	21	75	1
計	2,190	8,619	100

●議会機構



●投票区別有権者数(S.49.9.10現在)

区分	投票区域	計	男	女	区別有権者数内訳
第1投票区	久保・新町・六軒町	2,385	1,096	1,289	男 302 395 697 女 322 639 1,154 計 624 1,034 1,658
第2投票区	須賀・浜・高山田	1,715	802	913	男 362 404 766 女 321 372 693 計 683 776 1,459
第3投票区	岩和田	1,298	598	700	
第4投票区	上布施	611	281	330	
第5投票区	実谷・七本	435	202	233	
総数		6,444	2,979	3,465	

●町職員数(49.4.1現在)

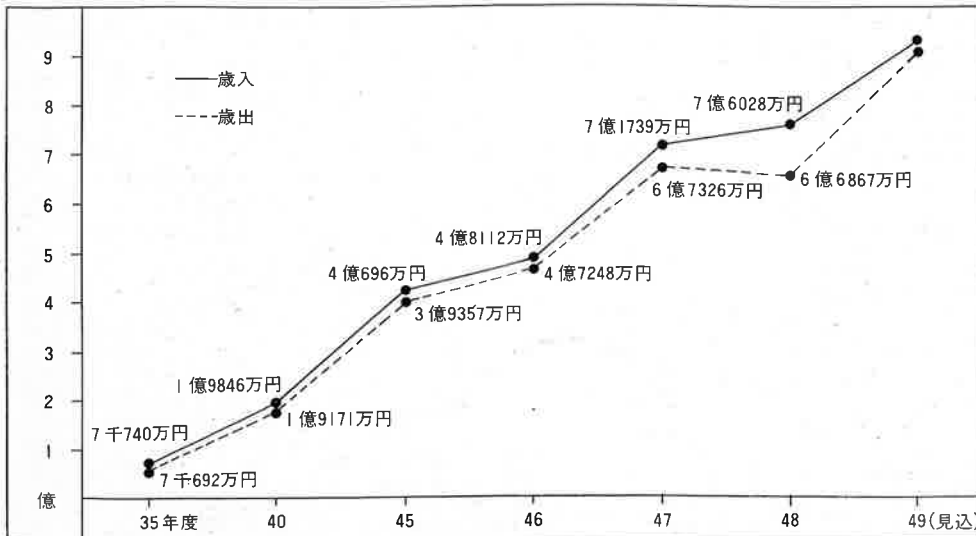
	職員数		
	総数	男	女
総数	90	52	38
議会関係	1	1	
総務関係	25	14	11
税務関係	8	6	2
民生関係	4	3	1
保育所関係	22		
衛生関係	1	1	
清掃職員	6	6	
観光・商工関係	3	3	
農林水産関係	4	4	
土木関係	8	7	1
国民健康保険事業職員	2	1	1
企業職の職員	3	3	
特別職(町三役)	3	3	

●選挙と投票率

当有権者	参昭和		衆昭和		御昭和		御昭和		千昭和		千昭和	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
投票率(%)	76.33	77.33	79.98	81.92	91.80	93.01	82.34	82.28	80.85	81.57	80.87	81.60

財政

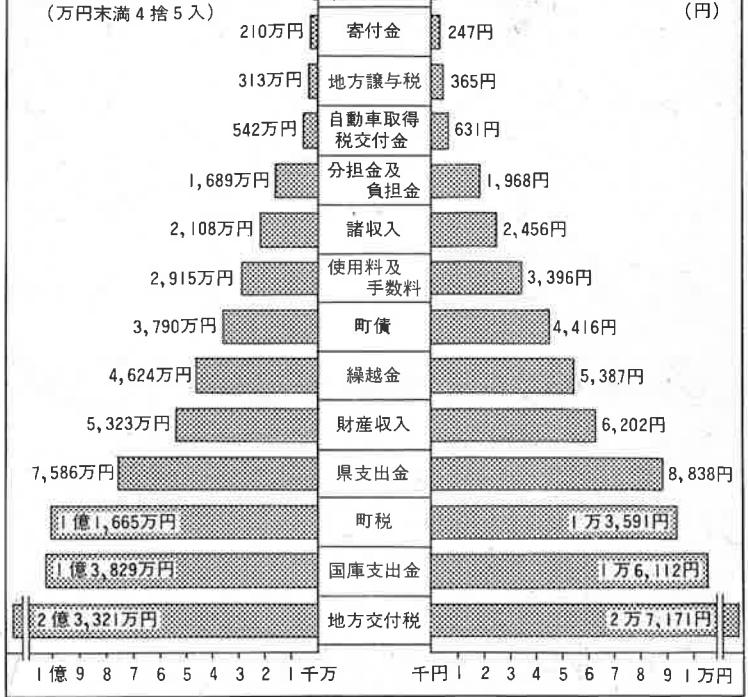
●財政規模の推移



●昭和48年度決算状況

人 口	面積	人口密度	人口集中地区	産業構造			
				区 分	第1次	第2次	第3次
国	45年 8,475人	25.04 km ²	343人	40年 8,815人	1,302人	1,007人	1,686人
調	40年 8,815人			35年 9,273	32.6%	25.2%	42.2%
	増加率 △3.9%	35.10.1	以降の合併状況				
住本台基	48.3.31 8,660人			40年 1,579人	764人	1,415人	
	49.3.31 8,583人			国調 42.0%	20.3%	37.7%	
一 般 職 員 等				特 別 職 員 等			
区 分	職員数(A)	給料月額(B)	1人当り支給月額(C)	区 分	改定実施年月日	1人当り平均給料月額	
一般職員	(56)人	(4,262)千円	(76,100)千円	市町村長	48.4.1	225,000円	
うち技能労務職	83	5,802	69,900	助 役	48.4.1	195,000	
教育公務員	19	1,037	54,600	収入役	48.4.1	185,000	
消防職員				教育長			
臨時職員	1	56	56,000	議会議長	48.10.1	61,000	
合 計	84	5,858	69,738	議会副議長	48.10.1	54,000	
				議会議員	48.10.1	48,000	
事業名	法適用の有無	収支額	普通会計からの繰入額	職員数	収支額		
水道事業(建設)	有		10,900千円	3人	7,296千円		
事業の状況					加入世帯数	1,655世帯	
					被保険者数	5,562人	
					一世帯当り保険料額	26,282円	
					被保険者一人当り費用	7,820円	
						20,208円	

●歳入決算額



●歳入(普通会計)

(単位千円)

区 分	年度	決算額	構成比	経常一般財	上昇率%
地 方 税	48	116,649	15.0%	116,629	42.0
	47	82,158	11.1	82,148	17.0
地 方 譲 与 税	48	3,131	0.4	3,131	5.9
	47	2,957	0.4	2,957	63.5
娯 楽 交 付 金					
軽油・自動車交付金	48	5,421	0.7	5,421	18.3
	47	4,581	0.6	4,581	15.1
地 方 交 付 税	48	233,205	29.9	220,369	38.5
	47	168,414	22.7	160,528	9.9
普 通	48	220,369	28.3	220,369	37.3
	47	160,528	21.7	160,528	9.6
特 別	48	12,836	1.6		62.8
	47	7,886	1.1		17.1
小 計	48	358,406	46.0	345,550	38.9
	47	258,110	34.9	250,214	13.2
交 付 金	48	725	0.1	725	29.0
	47	562	0.1	562	76.8
分 担 金・負 担 金	48	16,891	2.2		318.6
	47	5,302	0.7		△ 0.04
使 用 料	48	26,179	3.4		△ 0.76
	47	28,844	3.9		14.2
手 数 料	48	2,971	0.4		1.2
	47	2,935	0.4		69.6
国 庫 支 出 金	48	138,294	17.3		31.4
	47	105,265	14.2		74.4
国 有 提 供 交 付 金 (特別区調整交付金)					
都 道 府 県 支 出 金	48	75,859	9.7		35.6
	47	55,931	7.6		△ 13.4
財 産 収 入	48	53,225	6.8		△ 77.1
	47	232,349	31.4		492.6
寄 附 金	48	2,100	0.2		33.3
	47	900	0.1		△ 43.3
繰 入 金					
繰 越 金	48	46,237	5.9		468.2
	47	9,875	1.3		△ 29.2
諸 収 入	48	21,080	2.7		4.7
	47	20,141	2.7		46.8
地 方 債	48	37,900	4.9		85.8
	47	20,400	2.8		△ 33.3
合 計	48	779,867	100.0		5.3
	47	740,614	100.0		48.0

●性質別歳出

(単位千円)

区 分	年度	決算額	構成比	税 等	経常一般財	上昇率%
人 件 費	48	140,659	20.5	104,278	104,278	23.8
	47	113,618	16.4	86,393	85,025	13.0
うち職員給	48	93,731	13.6	69,047	69,047	20.8
	47	77,574	11.2	52,373	52,373	15.7
扶 助 費	48	23,259	3.4	3,910	3,910	369.9
	47	6,288	0.9	445	445	8.1
公 債 費	48	29,115	4.2	26,833	24,600	7.1
	47	27,178	3.9	23,775	23,775	16.7
元 利 償 還	48	29,115	4.2	26,833	24,600	7.1
	47	27,178	3.9	23,775	23,775	16.7
一 時 借 入 金 利 子						
小 計	48	193,033	28.1	135,021	132,788	31.2
	47	147,084	21.2	110,613	109,245	13.4
物 件 費	48	40,772	5.9	23,511	23,511	△ 14.2
	47	47,498	6.8	28,402	28,402	29.1
維 持 補 修 費	48	7,516	1.1	6,668	6,668	92.4
	47	3,906	0.6	3,585	3,585	△ 28.8
補 助 費 等	48	124,434	18.1	111,896	109,895	50.8
	47	82,518	11.9	75,320	75,118	221.3
積 立 金	48	11,742	1.7	9,000		△ 78.7
	47	55,000	7.9			687.5
投 資 及 び 出 資 金・貸 付 金						
繰 出 金	48	10,910	1.6	98		1,091
	47	10	0.0	10		△ 0.1
繰 出 金						
前 年 度 繰 上 充 用 金	48	441	0.1	441		100.0
	47					
投 資 的 経 費	48	298,796	43.4	36,557		83.4
	47	358,361	51.6	80,328		31.9
うち人件費	48	31		31		100.0
	47					
普 通 建 設 事 業 費	48	207,262	30.1	36,122		△ 19.7
	47	258,133	37.2	76,256		19.5
補 助	48	34,835	5.0	3,536		△ 33.0
	47	51,959	7.5	6,207		△ 52.0
単 独	48	172,427	25.1	32,586		△ 16.4
	47	206,174	29.7	70,049		91.4
災 害 復 旧 事 業 費	48	91,534	13.3	435		△ 8.7
	47	100,228	14.4	4,072		79.8
失 業 対 策 事 業 費						
合 計	48	687,644	100.0	323,192		△ 0.10
	47	694,377	100.0	298,258		41.4

●性質別歳出(一般会計)

区 分	年度	決算額	構成比	税 等	経常一般財	上昇率%
人 件 費	48	135,437	20.3	104,278	104,278	25.1
	47	108,273	16.1	86,393	85,025	13.7
うち職員給	48	89,217	13.3	69,047	69,047	22.5
	47	72,819	10.8	52,373	52,373	16.7
扶 助 費	48	23,259	3.5	3,910	3,910	369.9
	47	6,288	0.9	445	445	8.1
公 債 費	48	26,653	4.0	24,371	24,600	7.8
	47	24,716	3.7	23,775	23,775	16.7
内 元 利 償 還	48	26,653	4.0	24,371	24,600	7.8
	47	24,716	3.7	23,775	23,775	16.7
一 時 借 入 金 利 子						
小 計	48	185,349	27.7	132,559	132,788	33.1
	47	139,277	20.7	110,613	108,245	12.8
物 件 費	48	37,485	5.6	23,511	23,511	△ 14.3
	47	43,754	6.5	28,402	28,402	31.2
維 持 補 修 費	48	5,644	0.8	4,796	4,796	6.68
	47	2,973	0.4	3,585	3,585	△ 34.4
補 助 費 等	48	123,868	18.5	111,896	109,895	63.0
	47	75,973	11.3	75,320	75,118	212.3
積 立 金	48	11,742	1.8	9,000		△ 78.7
	47	55,000	8.2			687.5
投 資 及 び 出 資 金・貸 付 金	48	10,910	1.6	98		1,091
	47	10	0.0	10		△ 0.1
繰 出 金						
前 年 度 繰 上 充 用 金	48	441	0.1	441		100.0
	47					
投 資 的 経 費	48	293,232	43.9	36,557		△ 6.4
	47	356,272	52.9	80,328		31.9
うち人件費	48	31		31		100.0
	47					
普 通 建 設 事 業 費	48	201,698	30.2	35,122		△ 21.2
	47	256,044	38.0	76,256		18.5
補 助	48	34,835	5.0	3,536		△ 33.0
	47	51,959	7.5	6,207		△ 52.0
単 独	48	166,863	25.1	32,586		△ 18.2
	47	204,085	29.7	70,049		89.5
災 害 復 旧 事 業 費	48	91,534	13.7	435		△ 8.7
	47	100,228	14.9	4,072		79.8
失 業 対 策 事 業 費						
合 計	48	668,671	100.0	318,858		△ 0.10
	47	673,259	100.0	298,258		42.5

●目的別歳出

区分	年度	決算額	構成比	税等	上昇率
議会費	48	14,808	2.2	14,808	31.9
	47	11,224	1.6	11,224	22.1
総務費	48	87,299	12.7	73,717	△ 59.7
	47	216,715	31.2	101,581	273.6
民生費	48	76,115	11.1	20,683	63.0
	47	46,705	6.7	16,233	3.1
衛生費	48	46,142	6.7	21,515	91.3
	47	24,103	3.5	20,219	35.8
労働費					
農林水産業費	48	117,563	17.1	18,233	57.9
	47	74,450	10.7	19,475	△ 13.5
商工費	48	26,466	3.8	12,601	△ 24.3
	47	34,949	4.2	14,172	△ 0.6
土木費	48	67,869	9.9	35,668	△ 0.24
	47	69,524	10.0	23,274	37.2
消防費	48	20,970	3.0	7,719	41.5
	47	14,824	2.1	9,155	△ 14.0
教育費	48	109,763	16.0	90,980	47.4
	47	74,477	10.7	55,078	- 7.0
災害復旧費	48	91,534	13.3	435	△ 0.9
	47	100,228	14.4	4,072	79.8
公債費	48	29,115	4.2	26,833	7.1
	47	27,178	3.9	23,775	16.7
合計	48	687,644	100.0	323,192	△ 0.1
	47	694,377	100.0	298,258	41.4
徴収率	区分	現年課税分	滞納繰越分	合計	
	市町村民税	99.9%	100%	99.9%	
	固定資産税	98.8	99.2	98.8	
	合計	99.5	99.2	99.5	

●市町村税

区分	年度	決算額	構成比	上昇率
市町村個人分	48	45,831	39.3	76.9
	47	25,905	31.5	28.1
民税法人分	48	6,148	5.3	62.6
	47	3,780	4.6	41.6
固定資産税	48	36,617	31.4	33.3
	47	27,465	33.4	10.1
軽自動車税	48	1,756	1.5	13.3
	47	1,550	1.9	0.3
市町村たばこ消費税	48	18,959	16.3	- 6.5
	47	17,803	21.7	12.8
電気ガス税	48	5,986	5.1	6.4
	47	5,625	6.9	12.5
鉱産税	48			
木材引取税	48	24		20.0
	47	20		△ 33.3
特別土地保有税	48	1,308	1.1	100.0
	47			
目的税	48	20		100.0
	47	10		0
入湯税	48	20		100.0
	47	10		0
合計	48	116,649	100.0	42.0
	47	82,158	100.0	14.5

適用税率の状況

市町村個人分	均等割	200円	市町村法人分	均等割	4,000円
市町村民税	標準税率に対する比率	1.00	法人税割	9.1/100	
固定資産税			固定資産税	1.4/100	

48年度 住民負担の状況

(太字一1世帯当たり円、細字一1人当たり円) 計52,108円・13,205円

町民税 23,898 6,056	たばこ消費税 8,717 2,209
固定資産税 15,322 3,883	電気・ガス税 2,752 697
軽自動車税 807 205	木材引取税 11 3
特別土地保有税 601 152	

(国などから交付される固定資産税を除く)

●業種別総所得金額

業種	年次	47年	48年	49年
給与所得	10億45,512千円	13億65,145千円	17億28,431千円	
営業所得	1億58,662	1億93,442	2億49,364	
農林所得	5千1,826	4千8,848	4千9,985	
その他の事業所得	1億66,073	1億81,894	1億92,783	
その他の所得	1千3,495	1千5,747	1千6,353	
譲渡所得	1億23,663	4億51,334	4億99,420	
計	15億59,231	22億56,410	27億36,336	

教育・社会教育

●49年学校基本調査 49年5月1日

学校名	年度比較	学校数	職員数	児童生徒数
高等学校 県立	39	1	18	335
	49	1	28	405
中学校 町立	39	1	25	725
	49	1	24	406
小学校 町立	39	3	43	1,228
	49	3	45	842

●教育

学校名	所在地	電話
御宿小学校	久保2085	2009
岩和田小学校	岩和田1075	2254
布施小学校	上布施909	8243
御宿中学校	新町68	2101
県立御宿家政高校	久保1551	2911

●町の文化財一覧

種別	文化財	指定年月日	所在地	管理者
記念物(史跡)	ドンロドリゴ上陸地	41.12.2	岩和田626	御宿町

●町指定

種別	文化財	指定年月日	所在地	管理者
有形文化財(遺品)	ドンロドリゴ関係遺品	昭和49.3.29	久保1916	岩瀬禎之
	サンフランシスコ号キール			
	木造阿弥陀如来座像		浜572-1	妙音寺
	(彫刻) 亀甲地双鏡			
	(工芸品) 白銅鏡			
	(彫刻) 木造大日如来座像		上布施1474	真常寺
	(彫刻) 木造如意輪観音座像			
	(書跡) 十王堂縁起		六軒町区	十王堂

●町立小学校の児童、教職員数

() 内は特殊 49年5月

学校名	児童数	学級数	教員数	事務職員	調理師	用務員
総数	816 (26)	25 (4)	42	3	7	3
御宿小	452 (15)	13 (2)	21	1	5	1
岩和田小	186 (6)	6 (1)	10	1	2	1
布施小	178 (5)	6 (1)	11	1	0	1

●町立中学校の生徒、教職員数

() 内は特殊 49年5月

学校名	生徒数	学級数	教員数	事務職員	用務員	調理師
御宿中学校	380 (16)	10 (2)	23	1	1	4

●高等学校の状況 50年1月1日

学校名	生徒数	学級数	教員数	事務職員	用務員	警備員
県立御宿家政高等学校	405	9	25	3	2	2

農漁業・商工業

●専業、兼業別農家数

年度	総数	アール					例外規定
		10~30 (1反~3反)	30~50 (3反~5反)	50~100 (5反~10反)	100~150 (10反~15反)	150以上 (15反以上)	
40	676	201	100	195	150	27	3
41	671	199	103	190	150	26	3
42	665	194	107	187	148	27	2
43	641	176	103	195	136	29	2
44	608	155	104	187	132	28	0
45	584	147	96	183	129	29	0
46	557	137	90	186	116	26	2
47	553	136	92	194	105	24	2
48	532	119	92	198	98	22	3

●農家人口

昭和40年		
総数	男	女
3,345	1,596	1,749
昭和45年		
総数	男	女
2,750	1,288	1,462
昭和48年		
総数	男	女
2,443	1,165	1,278

●産業、従業者規模別事業所数および産業別従業者数

業種	事業所数	従業者数					従業者数
		1~4人	5~9人	10~19人	20~29人	30人以上	
総数	476	342	77	37	8	12	639
農業、林業、水産業	3	2					
建設業	52	39	5	6		2	268
製造業	70	29	18	13	5	5	796
卸売業、小売業	187	155	29	3			582
金融、保険業	4	2	1				32
不動産業	2	1					16
運輸、通信業	10	7	2				48
電気、ガス、水道、熱供給							
サービス業	142	102	22	12	2	4	807
公務	6	5					72

●事業所の推移

項目	昭和38年		昭和44年		昭和47年	
	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数
総数	413	1,314	427	1,987	476	2,639
農業、林業、水産業	0	0	2	7	3	18
建設業	0	0	0	0	0	0
製造業	50	118	44	177	52	268
卸売業、小売業	190	432	183	603	187	582
金融、保険業	3	12	4	23	4	32
不動産業	0	0	1	2	2	16
運輸、通信業	7	66	11	62	10	48
電気、ガス、水道、熱供給	0	0	0	0	0	0
サービス業	108	371	116	534	142	807
公務	-	-	-	-	6	72

●農用機械所有台数

年次	動力耕うん機						田植機	バインダー	自脱コンバイン	農用トラックオート三輪
	動力耕うん機	動力噴霧機	動力散粉機							
S 38年	219	12	3	-	-	-			9	
" 45 "	325	8	35	37	16	0			40	
" 46 "	317	7	59	54	58	0			25	
" 47 "	319	12	55	55	56	1			29	
" 48 "	333	10	56	56	95	4			33	
" 49 "	365	12	59	59	141	4			45	

●専業別農家戸数推移

年次	項目	専業農家				第一種兼業農家		第二種兼業農家				
		総数	御宿	岩和田	布施	御宿	岩和田	布施	御宿	岩和田		
38	総数	694				105			253			336
	" 45 "	315	103	276	37	2	66	93	0	160	185	101
46	総数	557				28			110			419
	" 47 "	242	55	260	6	0	22	22	0	88	214	55
47	総数	553				30			94			429
	" 48 "	239	54	260	9	0	21	21	0	73	209	54
48	総数	532				25			107			400
	" 49 "	221	51	260	4	0	21	19	0	88	198	51

●專業、兼業別農家数 昭和49年 2月1日

Table showing professional and part-time farmer numbers by region for 1974 and 1975, categorized by total, professional, and part-time numbers.

●地区別耕地の経営面積 (単位: 戸)

Table showing the operating area of cultivated land by region and type of land (rice, fruit, general).

●産業中分類別工場数・従業者数・製造品出荷額

Table showing the number of factories, employees, and output by industry classification.

●年次別工場数・従業者数・製造品出荷額

Table showing the number of factories, employees, and output by year.

Table showing various indicators such as number of firms, sales area, and turnover for different industries.

●農家人口と耕地 (総数)

Table showing the total number of agricultural households and cultivated land area by region.

●年次別組合別水揚高

Table showing the water lifting height by year and organization type.

●主要作物収穫面積の累年比較(単位a)

Table showing the cumulative comparison of main crop harvesting areas over several years.

●漁船隻数

Table showing the number of fishing vessels by year and type (powered vs. non-powered).

●漁種別水揚量

Table showing the water lifting volume by species of fish.

●経営組織別事業所数

Table showing the number of business establishments by management organization type and size.

●お主な魚種別水揚量

Table showing the main fish species water lifting volume by region.

●産業大分類別就業者数

Table showing the number of workers by major industry classification.

建設・水道

●道路の現況

Table showing the current status of roads, including road type, length, and area.

●民間家屋の状況 (木造)

Table showing the status of wooden private houses, including area and volume.

●民間家屋の状況 (非木造)

Table showing the status of non-wooden private houses, including area and volume.

●町道の延長面積 (49.1.1)

Table showing the extension area of town roads.

●公営住宅建設の推移

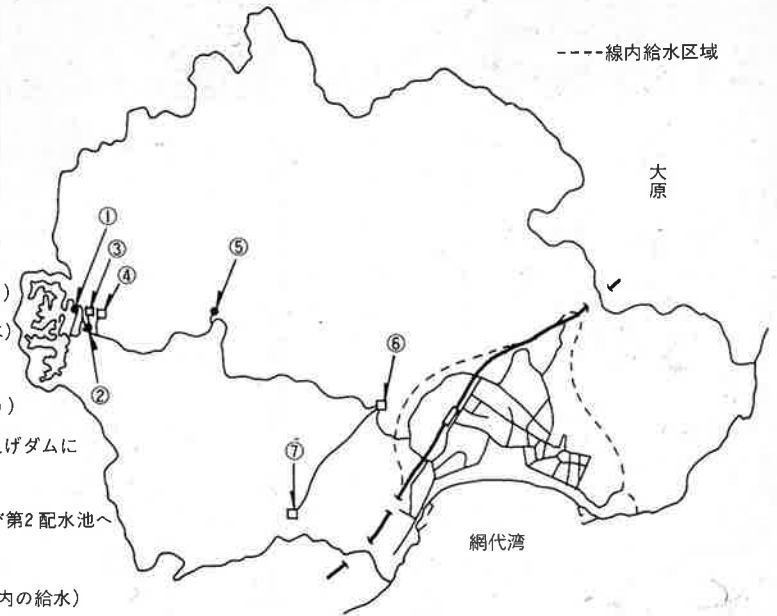
建築年次	住宅、団地名	戸数	面積	構造
昭和30年	新町住宅	20	627㎡	木造瓦葺平家建1戸建
31	"	20	627	"
32	須賀住宅	20	627	"
33	"	20	627	簡易耐火平家1棟2戸建
34	六軒町住宅	20	627	"
35	"	20	627	"
40	岩和田漁民住宅	24	1,190.4	簡易耐火2階1棟6戸建
44	久保富士浦団地	10	318.2	木造瓦葺平家1戸建
48	教職員住宅	3	120.45	軽量鉄骨(プレハブ)1戸建40.15㎡

●48年度水道事業決算

(単位千円)

区分	48年度 A	47年度 B	比較	
			増減 C(A-B)	率(%) C/B
収				
資本的収入				
企業債	7,800	-	7,800	-
出資金	11,332	-	11,332	-
合計	19,132	-	19,132	-
支				
資本的支出				
建設改良費	19,041	-	19,041	-
人件費	220	-	220	-
物件費	121	-	121	-
委託料	18,700	-	18,700	-
合計	19,041	-	19,041	-
差引	91	-	91	-

- 取水塔(ダムから取水する)
- 導水ポンプ(浄水場に送水)
- 浄水場
- 調整槽(流量の調整を行う)
- 揚水機場(河川水を汲み上げダムに送水する)
- 須賀第1配水池(給水及び第2配水池への送水)
- "第2"(B地区内の給水)



保健・衛生・社会福祉

●伝染病患者発生別件数

病名別	年度	38	47
赤痢		2	
痘			
しょうこう熱			1
ジフテリア			
日本脳炎			
流脳			
腸チフス			
パラチフス		2	1
計		2	1

●保育所

	開設年月日	収容人員	職員数
御宿保育所	昭46.4.1日	200人	14人
岩和田保育所	昭28.5.1日	90	8
計	-	290	22

●高齢人口の状況

区分	65才以上の人口	要援護高齢人口	
		総数	施設収容在宅介護
昭30年	821	16	8
昭40年	916	18	3
昭49年	1,176	21	4

●社会福祉施設建設年次

区分	年次	昭40年	昭41年	昭42年	昭45年	昭46年	昭47年	昭48年	昭49年	昭50年	計
青年館		1	1	2							5
児童館							1				1
児童遊園地							2				5
子どもの遊び場											1
計		1	1	2			3				12

●予防接種実施状況

年次	腸チフス パラチフス	ジフテリア	ジフテリア 破傷風 百日咳	種痘	小児マヒ 生ワク	日本脳炎	インフルエンザ
49		277人	115人	380人	116人	174人	1,426人

●保健検診

(昭和49年度)

区分	対象者数	受診者数	受診率
乳児	126人	120人	95.0%
三歳児	121	98	81.0
妊婦	107	105	98.1
結核	3,028	2,921	96.5
ツ反注射	3,028	147	4.9
健康診断	70	48	68.6

●国民健康保険給付状況

	助産	育児	葬祭
38 { 件数	76千	59千	54千
費用額	152	64	108
47 { 件数	71	62	47
費用額	710	74	141
48 { 件数	62	79	61
費用額	620	94	183

●48年度公共施設状況調査

収集人口	年間処理量	車の数	処理能力	処理方式	完成年度	職員数
8,583人	4,278t	2台	10/日	パッチ式 燃焼式	46	6

し尿	収集人口	年間処理量	車の数	処理能力	処理方式	完成年度	職員数
	8,142人	3,566t	2台	18t/日	酸化処理	41	1

●原因別死亡者(昭和49年1~12月まで)

その他 16.7% 10人 血管損傷(脳卒中) 18.3% 11人
 心臓疾患 15.0% 9人 呼吸器 15.0% 9人
 消化器系疾患 13.3% 8人 悪性新生物(がん) 13.3% 8人
 不慮の事故 6.7% 4人 腎臓 1.7% 1人

●年次別国民健康保険加入状況概要
世帯数

年度	町世帯	国保加入世帯	加入率	町人口	国保加入人口	加入率
開始年(32)	2,040	1,518	74.4%	9,996	7,290	72.9%
38	2,088	1,444	69.2	9,649	6,210	64.4
47	2,150	1,643	76.4	8,608	5,603	65.1
48	2,169	1,655	76.3	8,660	5,562	64.2
49	2,177	1,675	77.2	8,583	5,520	64.3

●年次別国民健康保険給付状況概要

	一般診療	歯科診療	薬剤	療養費
開始件数	10,506	1,371	2	170
32年費用	8,467千	534千	1千	458千
38年件数	14,915	2,691	61	
38年費用	23,138	3,407	36	367
47年件数	24,898	3,417	8	227
47年費用	117,203	10,250	38	1,036
48年件数	26,673	3,295	8	530
48年費用	145,975	11,326	11	1,909

●国民年金被保険者数(49.12現在)

被保険者数				不在被保険者数	保険料免除除被保険者数			免除率
強制	高年任意	若年任意	計	法免	申免	計		
2,792	89	235	3,116	159	44	40	84	2.7

●国民年金検認実施状況(49.12末現在)

検認対象月数A	検認実施月数B	前納月数C	B+C/A
22,830	20,238	1,980	97.3

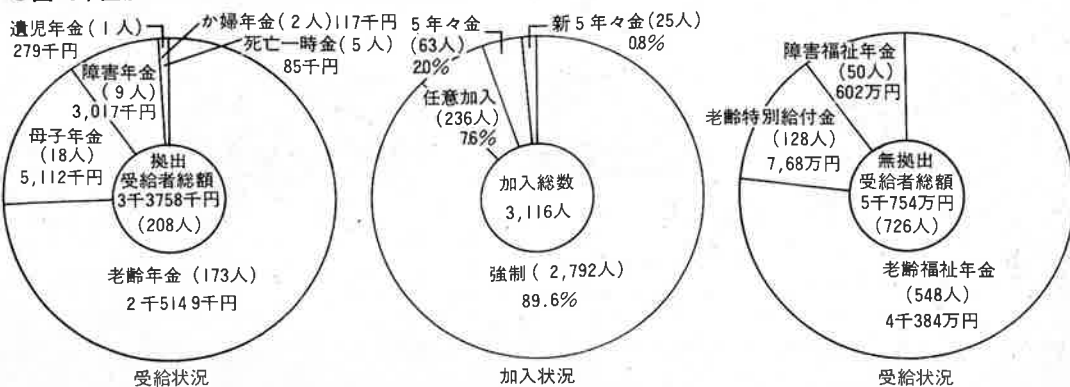
●拠出年金受給者数(49.12末現在)

区分	障害年金	母子年金	遺児年金	寡婦年金	合計
人数	9	18	1	2	30

●福祉年金支給状況

	受給権者	受給者	受給率
老令	745	676	
障害	51	50	
母子	0	0	
計	796	726	91.2%

●国民年金加入・受給状況(昭和49年12月末現在)



数字でみる町のすがた



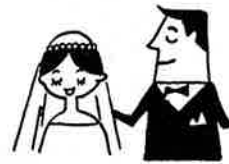
人口 8,583人
一世帯 3.9人
人口1km²に343人



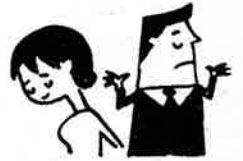
出生 3.1日に1人



死亡 42日に1人



婚姻1年に17組



離婚1年に17組



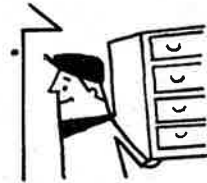
役場職員
町民95人に1人



町税1人年4,230円



御宿駅乗客1日2051人



転入11日に1人



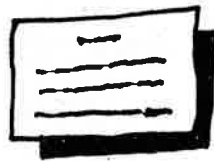
転出08日に1人



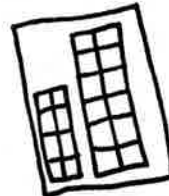
1年間のタバコ消費本数
2,490万本
1人当り 2,900本



小売店13世帯に1軒



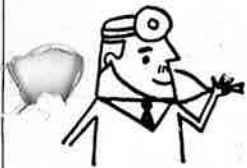
町債
1人当り27,167円



電報発信1日に1.4回
" 着信1日に5.3回



普通郵便
差出 1人年 292通
受取 1人年 1,090通



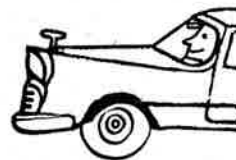
医師・歯科医師
954人に1人
1人当り医療費 年5,249円



病院・診療所
954人に1施設



年間平均気温15.6°



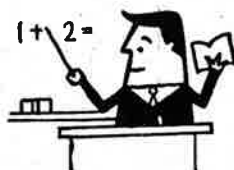
自動車1.7世帯に1台



警官 町民2,862人に1人



児童生徒 14世帯に1人



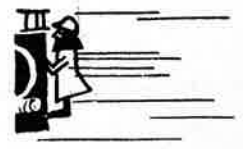
小中学校教員
生徒22人に1人



カラーテレビ14世帯に1台



消防団員 町民32人に1人



消防車 181世帯に1台

住民カレンダー

<p>1月</p>	<p>7日 出づめ式 10日 定例協議会 11日 例月監査 ●新入園児入所受付 ●心配ごと相談所開設 ●国民年金拠出年金現況届提出 31日 町県民税第4期分納期限 31日 給与支払報告書提出期限</p>	<p>31日 固定資産税償却資産申告 ●小学校入学前と卒業前の児童ジフテリア種痘の予防接種 第2火曜日乳児相談(公民館) 第2水曜日こ関節脱臼検診(保健所) 第2金曜日栄養教室(御小調理室)</p>	<p>7月</p>	<p>●プール開き 10日 定例協議会 11日 例月監査 ●社会を明るくする月間 ●国民年金拠出年金第1期検認(4月～6月分) 27日 消防団海岸パトロール 31日 固定資産税第2期分納期限</p> <p>第2火曜日乳児相談(公民館) 第2水曜日こ関節脱臼検診(保健所) 第2金曜日栄養教室(御小調理室)</p>
<p>2月</p>	<p>1日 農業基本調査 10日 定例協議会 11日 例月監査 28日 国民健康保険税第4期分納期限 28日 特別土地保有税(取得税)の申告 ●児童手当支払月 ●心配ごと相談所開設 第2火曜日乳児相談(公民館)</p>	<p>第2水曜日こ関節脱臼検診(保健所) 第2金曜日栄養教室(御小調理室) ●小学校入学前と卒業前の児童にジフテリア種痘の予防接種</p>	<p>8月</p>	<p>3日 消防団海岸パトロール 10日 定例協議会 11日 例月監査 ●市町村交通災害共済加入受付(一般) 31日 個人町県民税第2期分納期限 31日 国民健康保険税第2期分納期限 ●個人事業税第1期分納期限 ●特別土地保有税(取得税)の申告納付</p> <p>第2火曜日乳児相談(公民館) 第2水曜日こ関節脱臼検診(保健所) 第2金曜日栄養教室(御小調理室)</p>
<p>3月</p>	<p>11日 例月監査 ●定例町議会 ●所得税の確定申告期限(2月16日～3月15日) 15日 個人の町県民税申告期限 15日 個人の事業税申告期限 ●固定資産課税台帳の縦覧期間(3月1日～3月20日) ●国民年金拠出年金第4期検認(1月～3月分)</p>	<p>●米飯提供者登録 ●米穀小売業者登録更新申請 ●乳幼児の種痘の予防接種 ●心配ごと相談所開設 第2火曜日乳児相談(公民館) 第2水曜日こ関節脱臼検診(保健所) 第2金曜日栄養教室(御小調理室)</p>	<p>9月</p>	<p>●定例町議会 10日 選挙人名簿登録 11日 例月監査 ●秋の交通安全運動実施 15日 敬老会 30日 固定資産税第3期分納期限 第2火曜日乳児相談(公民館) 第2水曜日こ関節脱臼検診(保健所)</p> <p>第2金曜日栄養教室(御小調理室)</p>
<p>4月</p>	<p>10日 定例協議会 11日 例月監査 30日 固定資産税第1期分納期限 ●母に感謝するカーネーションはん分 ●社会福祉協議会総会 ●春の全国交通安全運動実施 4月～5月 乳幼児の生ワクチン投与</p>	<p>●児童生徒のツベルクリン反応BCG接種 ●乳幼児の健康診断(内科・眼科・歯科) ●一般住民希望者の胃の集団検診 ●春期狂犬病予防注射 ●心配ごと相談所開設 第2火曜日乳児相談(公民館) 第2水曜日こ関節脱臼検診(保健所) 第2金曜日栄養教室(御小調理室)</p>	<p>10月</p>	<p>10日 定例協議会 11日 例月監査 ●町政懇談会 ●児童手当支払月 ●国民年金拠出年金第2期検認(7月～9月分) ●老人スポーツ大会 ●共同募金開始</p> <p>31日 個人町県民税第3期分納期限 第2火曜日乳児相談(公民館) 第2水曜日こ関節脱臼検診(保健所) 第2金曜日栄養教室(御小調理室) 10月～12月 保育所・各小中学校児童生徒のインフルエンザ予防接種 ●乳幼児の秋期生ワクチン投与 ●秋期狂犬病予防注射</p>
<p>5月</p>	<p>10日 定例協議会 11日 例月監査 ●住民福祉会議 ●印鑑登録直接証明方式から間接証明に切替事務 ●日赤募金開始 31日 自動車・軽自動車税の納期限 ●特別土地保有税(保有税)申告納付</p>	<p>●心配ごと相談所開設 第2火曜日乳児相談(公民館) 第2水曜日こ関節脱臼検診(保健所) 第2金曜日栄養教室(御小調理室)</p>	<p>11月</p>	<p>11日 例月監査 ●日赤法人募金開始 ●秋の火災予防運動(11月26日～12月2日) 30日 国民健康保険税第3期分納期限 30日 個人事業税第2期分納期限 第2火曜日乳児相談(公民館) 第2水曜日こ関節脱臼検診(保健所)</p> <p>第2金曜日栄養教室(御小調理室)</p>
<p>6月</p>	<p>●海開き ●定例町議会 11日 例月監査 ●児童手当支払月 ●国民年金福祉年金定時届提出 30日 個人の町県民税第1期分納期限 30日 国民健康保険税第1期分納期限 6月～9月 浄化槽維持管理立入検査</p>	<p>●一般住民希望者の婦人科集団検診 ●一般家庭へ、か・はえ・ねずみ駆除の薬剤散布 ●保育所、各学校児童・生徒の日本脳炎予防接種 第2火曜日乳児相談(公民館) 第2水曜日こ関節脱臼検診(保健所) 第2金曜日栄養教室(御小調理室)</p>	<p>12月</p>	<p>●定例町議会 ●例月監査 ●国民年金拠出年金第3期検認(10月～12月分) ●歳末たすけ合い運動 ●年末交通安全運動の実施 ●歳末夜警(25日～31日) 31日 工業統計</p> <p>31日 固定資産税第4期分納期限 第2火曜日乳児相談(公民館) 第2水曜日こ関節脱臼検診(保健所) 第2金曜日栄養教室(御小調理室)</p>

御宿ブルース

作詩 古谷玲児 / 作曲 八州秀章
唄 ずずらん姉妹

- あだし人魚よ ^{ななひろやひろ} 七尋八尋
姿いとしや 紺がすり
忘れられよか 忘れてなろか
夢の御宿 海女の町 海女の町
- 星の数ほど 寄せては返す
色もとりどり 人の波
光る砂浜 きらめく渚
夢の御宿 海の町 海の町
- 月のあかりに 2人の胸に
乱れ咲く花 月見草
行こか砂丘へ 戻ろか宿へ
夢の御宿 恋の町 恋の町

房州御宿音頭

房州 御宿宝の庫よ

ハソリヤ ドウシタ ドウシタネ
海に銀鱗 海に銀鱗 田に黄金
ハソリヤ ヤッサイ ヤッサイ ドントネ
房州御宿 網代の浜は
銀の砂浜 銀の砂浜 金の浜
潮は黒潮 流れて巻いて
風は夕風 風は夕風 恋の風
あんな男を幌子にもって
ぬれて苦勞が ぬれて苦勞が してみたい
お前や水底 わしや風の中
つなは一筋 つなは一筋 血が通う
板子一枚いといはせぬが
お前が ぬれるお前が いとおしい
宿旅立つ朝は
雨も降らぬに 雨も降らぬに 袖しぼる
舟は帆まかせ 帆は風まかせ
わたしやお前の わたしやお前の つなまかせ

御宿囃し

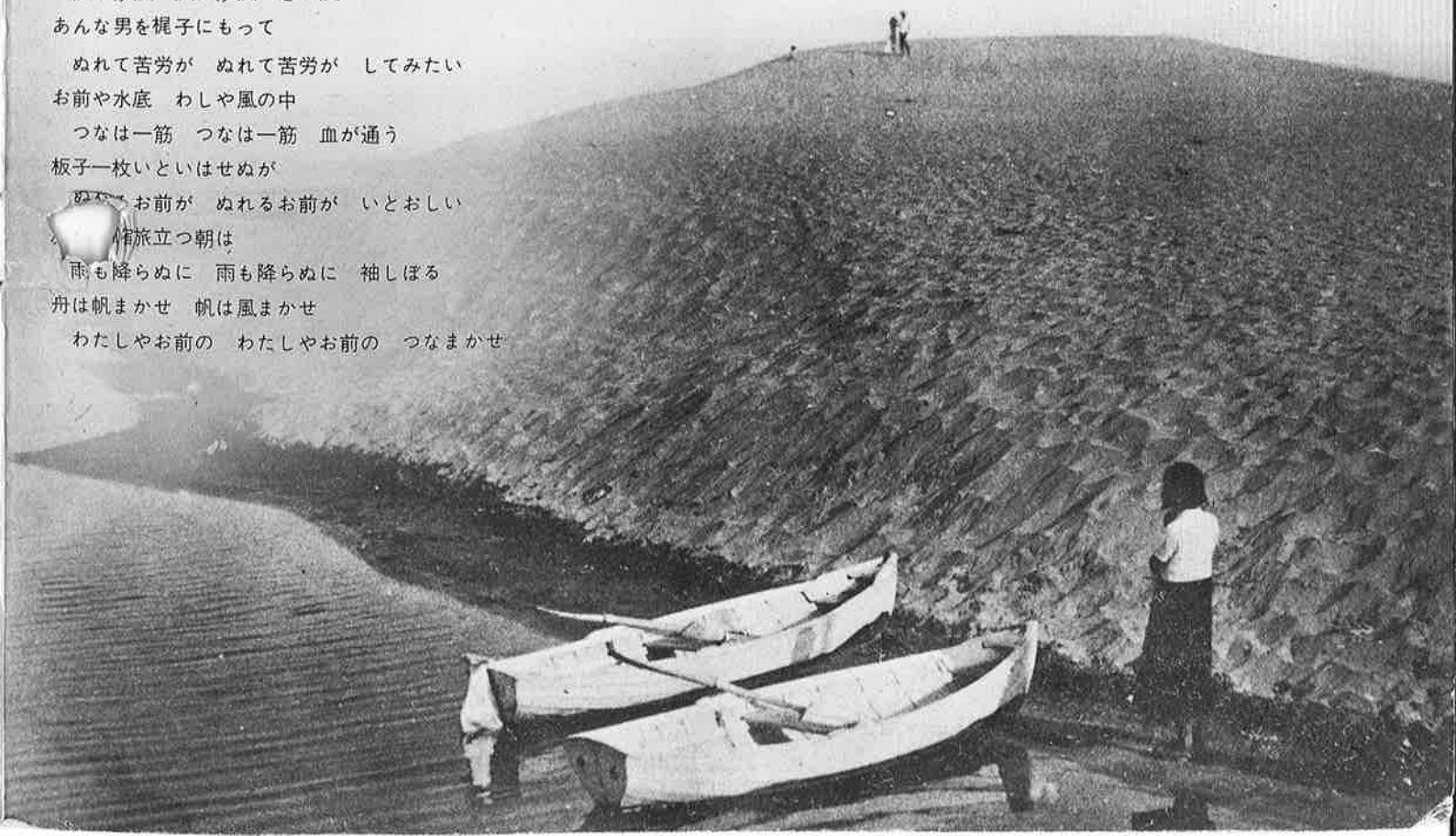
作詩・作曲 加藤まさを / 編曲 吉野達弥
唄 中里このえ

- ドンとドンとドンと男波が躍る
躍る男波に抱かれて歌う
女波いとしや月夜の晩は
御宿囃して浮かれ出す
- 山にや名物メキシコタワー
浜の砂丘にや王子と姫が
月の砂漠を揺られて越える
対の駱駝の旅姿
- 磯の華がよ岩和田の海女は
浮いて沈んで沈んで浮いて
浪がドンと来りや乳房が揺れる
誰が住むやらあの胸に
- 昼は砂丘に浜昼顔が
夜は砂合に宵待草が
粹な浜風花から花に
若い2人の燃える頬に
- 椰子の葉蔭で佳い夢見たよ
野暮なトウロク、磯パン無しの
可愛い人魚が蠟燭岩で
忘れちゃおえねえ また来てね

月の沙漠

作詩 加藤まさを / 作曲 佐々木すくる

- 月の沙漠を はるばると
旅のらくだが 行きました
金と銀との くらおいて
2つならんで 行きました
- 金のくらは 銀のかめ
銀のくらは 金のかめ
2つのかめは それぞれに
ひもてむすんで ありました
- 先のくらは 王子さま
あとのくらは お姫さま
乗ったふたりは おそろいの
白い上衣を 着てました
- 広い沙漠を ひとすじに
ふたりはどこへ 行くのでしょうか
おぼろにけふる 月の夜を
ついらくだは とほとほと
砂丘を越えて 行きました
だまって越えて 行きました



20



●春の泉

らんらんたる まひるの星
きらめく 白い砂浜
かがやく みどりの山
息吹となりて燃ゆる
はらからの雄叫びが 地軸より
春の泉となりて
わきたつ わが町よ
はぐくまれし 20年のうるおいが
ここに たゆたう

合併20周年記念町勢要覧

1975<昭和50年版>

発行=昭和50年3月31日

発行所=千葉県御宿町/TEL047068-2511(代)

編集=御宿町役場総務課

制作=株式会社新濤社©/TEL0472-71-2156(代)